



BOM Report オプション Ver.8.0
デザインファイル仕様

免責事項

本書に記載された情報は、予告無しに変更される場合があります。セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に関していかなる種類の保証（商用性および特定の目的への適合性の黙示の保証を含みますが、これに限定されません）もいたしません。

セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に含まれた誤謬に関しての責任や、本書の提供、履行および使用に関して偶発的または間接的に起こる損害に対して、責任を負わないものとします。

著作権

本書のいかなる部分も、セイ・テクノロジーズ株式会社からの文書による事前の許可なしには、形態または手段を問わず決して複製・配布してはなりません。

商標

本ユーザーズマニュアルに記載されている「BOM」はセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。また、本文中の社名、製品名、サービス名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

なお、本文および図表中では、「TM」（Trademark）、「(R）」（Registered Trademark）は明記しておりません。

目次

本書について

製品表記

使用方法

第1章 Report オプション デザインファイル仕様について

1. Report オプションのデザインについて
2. Report オプションのファイルサイズについて
3. グラフのしきい値の表示について
4. 各種レポートで出力される表形式の値とグラフの値について
5. Linuxインスタンスのレポート出力について

第2章 各種レポートデザインの仕様

1. サーバー診断レポート (Windows)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
 - (3) サマリー情報の診断結果
2. 過去比較情報 (Windows)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
3. 詳細グラフ情報 (Windows)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
 - (3) 特定の監視項目における値について
4. システム基本情報 (Windows)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
5. ハードウェア情報 (Windows)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
6. ソフトウェア情報 (Windows)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
7. ハードウェア・ソフトウェア差分情報 (Windows)
8. プロセス詳細情報 (Windows)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
9. ディスククォータ情報 (Windows)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
10. アプリケーションログ情報 (Windows)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
11. システムログ情報 (Windows)
 - (1) 各項目について

- (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
- 12. セキュリティログ情報 (Windows)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
- 13. セキュリティログ詳細 (Windows)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
- 14. Arcserve UDP ログリスト
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
- 15. Hyper-Vレポート
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
- 16. サーバー診断レポート (Linux)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
 - (3) サマリー情報の診断結果
- 17. 過去比較情報 (Linux)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
- 18. 詳細グラフ情報 (Linux)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
- 19. システム基本情報 (Linux)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
- 20. ハードウェア情報 (Linux)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
- 21. ソフトウェア情報 (Linux)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
- 22. ハードウェア・ソフトウェア差分情報 (Linux)
- 23. テキストログ情報 (Linux)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
- 24. 全インスタンス概要 (WindowsとLinux)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
 - (3) インスタンス概要の各記号について
- 25. サーバー診断レポート (VMware)
 - (1) 各項目について
 - (2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧
- 26. 詳細グラフ情報 (VMware)
- 27. システム基本情報 (VMware)

(1) 各項目について

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

28. VMwareログレポート (VMware)

(1) 各項目について

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

第3章 レポートデータベース標準テーブルについて

1. 各種テーブルについて

本書について

製品表記

本ドキュメントでは、以下の製品について略称を使用しています。

正式名称	本マニュアルでの呼称（略称）
BOM for Windows Ver.8.0 SR1	BOM 8.0
BOM Report オプション Ver.8.0 SR1	Report オプション

使用方法

本ドキュメントには、BOM Report オプションで出力できる各種レポートで使用するデザインファイルについて詳細を記載しています。

- BOM 8.0のインストールに関しては'BOM for Windows Ver.8.0 インストールマニュアル'を参照してください。また、Report オプションの詳細については、'BOM Report オプション Ver.8.0 ユーザーズマニュアル'を参照してください。
- 本ドキュメントを使用するには、Windows、Linux、VMwareについての実際的な知識と、BOM 8.0の基本的な知識が必要です。

第1章 Report オプション デザインファイル仕様について

1. Report オプションのデザインについて

本ドキュメントでは、各種レポートで使用するデザインファイルについて詳細を明記しています。

レポートデータベース設定ウィザードを使用し、レポート用データベースを構築する際に必要となる情報も含まれています。出力したいレポートに合わせ、各ページの詳細部分を確認してください。

2. Report オプションのファイルサイズについて

出力された各種レポートのファイルサイズはPDF出力で約250KB/枚です。Excel出力で約10KB/枚です。

3. グラフのしきい値の表示について

各種レポートで出力されたグラフ表示の中のしきい値表示は監視結果取得時のしきい値です。監視設定を変更し、しきい値を変更するとしきい値のグラフに反映されます。また、監視結果がない場合にはしきい値は表示されません。

4. 各種レポートで出力される表形式の値とグラフの値について

表における最大値、最小値、平均値などは、各監視項目の指定された間隔で取得した値で更新されます。グラフにおける値は、その値を平衡化（サンプリング）してレポートデータベースに連続的に格納していきます。この違いにより、表における値とグラフから読み取れる値が異なる場合があります。

例として、詳細グラフ情報の表において、ある項目の最大値★が100と出力され、その表の下にある棒グラフから読み取れる最大値は40程度という場合があります。

5. Linuxインスタンスのレポート出力について

帳票名"505_ハードウェア情報" ('[ハードウェア情報 \(Linux\)](#)') の出力には、以下の要件を満たす必要があります。

- Red Hat Enterprise Linux 7.x :
「OpenLMI (tog-pegasus,openlmi-toolsパッケージ)」、もしくは「Ishw」および「perl-JSON」のパッケージを導入すること。
 - 【参考情報】 2023年12月7日現在、レッドハット社の以下のサイトにOpenLMIのインストールに関する情報が掲載されています。
 - "22.2 OPENLMI のインストール"
https://access.redhat.com/documentation/ja-jp/red_hat_enterprise_linux/7/html/system_administrators_guide/sect-openlmi-install
- Red Hat Enterprise Linux 8.x、9.x :
「Ishw」および「perl-JSON」のパッケージを導入すること。

- Ubuntu

「lshw」および「libjson-perl」のパッケージを導入すること。

第2章 各種レポートデザインの仕様

1. サーバー診断レポート (Windows)

監視コンピューターの稼働状況を簡単にまとめたサマリーレポートです。

サーバー診断レポート

サーバー名 対象期間 2022/03/01 ~ 2022/03/31

1 2

3

4

5

6

7

診断項目	総容量	平均値	最大値	診断
CPU負荷状況	-	0.50 %	39.00 %	✓
メモリ使用状況	4.00 GB	57.32 %	72.35 %	⚠
仮想メモリ使用状況	-	47.54 %	55.00 %	✓
ハードディスク使用率 C:	89.40 GB	24.73 %	25.23 %	✓

コメント

CPU使用率は平均0.50%であり、最大値も3月13日2時25分に39.00%であり問題ありません。物理メモリ使用量は平均57.32%であり、タスクの追加等は控えらるることをお勧めします。仮想メモリ使用量は平均47.54%であり、タスクの追加が行われる場合は、ご注意ください。ハードディスク使用量(C:)は平均24.73%であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。

帯域状況と損失	平均値	最大値	診断
NIC1	0.00 %	0.00 %	✓
Intel(R) 82574L Gigabit Network Connection			
IN損失	0.00 件	-	-
OUT損失	0.00 件	-	-

1/2 BOM for Windows

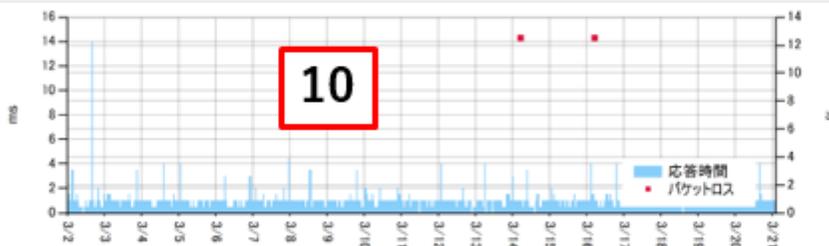
◆Ping応答時間

8

宛先 : google.co.jp

診断項目	平均値	最小値	最大値	診断	
応答時間 (ms)	1.12	0.00	2022/03/03 3:05:49 27.00	2022/03/03 11:05:49 27.00	🟢
パケットロス (%)	0.05	0.00	2022/03/02 19:35:50 25.00	2022/03/17 22:35:49 25.00	🔴

9



10

コメント

google.co.jpとの応答時間に問題はありません。google.co.jpでパケット損失が発生しています。ネットワークや関連機器の動作もしくは相手先を確認して下さい。

11

◆イベントログ サマリー

下記情報は、総合評価および各コメントの評価対象ではありません。指標として出力していますので、必要な項目は実際のイベントログでご確認ください。セキュリティログは対象ではありません。セキュリティログは別レポートでご確認下さい。

ソース	情報	詳細	警告	エラー	重大	その他	合計
MsiInstaller	0	0	2	0	0	0	2

12

(1) 各項目について

No.	説明
1	レポート対象のサーバー名を表示します。
2	レポートの出力対象期間を表示します。
3	コンピューターリソースの診断結果、ネットワークトラフィック診断結果および、Ping応答時間の診断結果を合わせたコンピューター総合評価をそれぞれの診断結果を基にコメントを自動生成します。また、総合評価に合致したアイコンを表示します。
4	コンピューターリソースの診断結果を表示します。 ステータスは、監視コンピューター上の監視項目から情報を取得し、判定基準に沿って決定します。ただし、IN損失、OUT損失は診断の対象としません。
5	コンピューターリソースの診断結果を元にコメントを自動生成します。
6	コンピューターリソースの診断結果をチャートにまとめて表示します。
7	ネットワークトラフィックの診断結果を表示します。 ステータスは、監視コンピューター上の監視項目から情報を取得し、判定基準に沿って決定します。ただし、IN損失、OUT損失は診断の対象としません。
8	Ping監視の監視先を表示します。
9	Ping監視の診断結果を表示します。 ステータスは、監視コンピューター上の監視項目から情報を取得し、判定基準に沿って決定します。
10	Ping監視の応答時間・パケットロスについてグラフ表示します。
11	Ping応答時間・パケットロスの診断結果を元にコメントを自動生成します。
12	システムログおよび、アプリケーションログの集計値を一覧で表示します。 なお、本項目についてはサーバー診断レポートの評価対象ではありません。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

レポートデータベース設定ウィザードで指定する際に使用する一覧表です。

- 監視テンプレート名 : **Windows サーバー診断レポート用**

監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
Windows レポート向け監視項目	プロセッサ監視	CpuPTime
	メモリ監視	MemABytes
	仮想メモリ監視	PerfMemCBytesInUse
	ディスクアクセス監視	DiskQueueLength
	C ドライブディスク容量監視	DiskFreeSpace
	D ドライブディスク容量監視	DiskFreeSpace
	E ドライブディスク容量監視	DiskFreeSpace
	F ドライブディスク容量監視	DiskFreeSpace
	G ドライブディスク容量監視	DiskFreeSpace
	プロセス詳細情報収集	未使用
	プロセス詳細情報収集 (x64)	AllProc
	NIC1 ネットワーク帯域使用率監視	NetworkUtilization
	NIC1 ネットワーク受信バイト率	未使用
	NIC1 ネットワーク送信バイト率	未使用
	NIC1 ネットワーク受信エラー発生回数	PerfNICPacketRcvErr
	NIC1 ネットワーク送信エラー発生回数	PerfNICPacketOutbErr
	NIC2 ネットワーク帯域使用率監視	NetworkUtilization
	NIC2 ネットワーク受信バイト率	未使用
	NIC2 ネットワーク送信バイト率	未使用
	NIC2 ネットワーク受信エラー発生回数	PerfNICPacketRcvErr
NIC2 ネットワーク送信エラー発生回数	PerfNICPacketOutbErr	
ログ監視	システムログ監視	Evtlog
	アプリケーションログ監視	Evtlog

監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
Ping監視	IP アドレスまたは機器名称1 応答時間	PingResponse
	IP アドレスまたは機器名称1 パケットロス	Packetloss
	IP アドレスまたは機器名称2 応答時間	PingResponse
	IP アドレスまたは機器名称2 パケットロス	Packetloss
	IP アドレスまたは機器名称3 応答時間	PingResponse
	IP アドレスまたは機器名称3 パケットロス	Packetloss
	IP アドレスまたは機器名称4 応答時間	PingResponse
	IP アドレスまたは機器名称4 パケットロス	Packetloss
	IP アドレスまたは機器名称5 応答時間	PingResponse
	IP アドレスまたは機器名称5 パケットロス	Packetloss

• 監視テンプレート名：**セキュリティログレポート用**

監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
セキュリティログレポート用	セキュリティログ監視	Evtlog

• 監視テンプレート以外の項目について

監視項目名	出力テーブル名
サービス監視	Service
ポート監視	Port

※ サービス監視、ポート監視を詳細グラフで表示するには、BOM 8.0 レポートデータベース設定ウィザードにより追加の設定が必要です。追加の設定方法は'BOM Report オプション Ver.8.0 ユーザーズマニュアル'を参照してください。すでにBOM 8.0 レポートデータベースの設定を一度行い、追加で上記項目のレポート出力する場合には、BOMレポートデータベースの再作成が必要です。レポートデータベースの削除、レポートデータベースの作成の詳細についても'BOM Report オプション Ver.8.0 ユーザーズマニュアル'を参照してください。BOM レポートデータベースを再作成しても元データであるアーカイブサーバーのデータが削除されることはありません。

(3) サマリー情報の診断結果

サーバー診断レポートの診断結果は、平均値と最大値を考慮して設定します。

- 診断結果

サーバー診断レポートで表示される診断結果およびアイコンは、以下の値で設定しています。

診断項目名	 正常（余力あり）	 正常	 注意	 高負荷
CPU 負荷状況	平均 50% 未満	平均 75% 未満	平均 95% 未満	平均 95% 以上
メモリ使用状況	平均 50% 未満	平均 75% 未満	平均 95% 未満	平均 95% 以上
仮想メモリ使用状況	平均 25% 未満	平均 50% 未満	平均 75% 未満	平均 75% 以上
ハードディスク 使用率	平均 50% 未満	平均 75% 未満	平均 90% 未満	平均 90% 以上
帯域状況	平均 25% 未満	平均 50% 未満	平均 75% 未満	平均 75% 以上
応答時間	平均 90ms 未満	—	平均 90ms 以上	平均 100ms 以上
パケットロス	最大 1% 未満	—	—	最大 1% 以上

- コメント

サーバー診断レポートのコメントは、診断結果を元に、最大値の情報を加味して設定しています。

なお、以下の表で"（平均値）"、"（日時）"、"（最大値）"、"（ドライブ名）"、"（NIC名）"と表記している箇所には、実際の監視コンピューターの情報が入ります。

- CPU負荷状況

診断結果	最大値	コメント
 正常 (余力あり)	50% 未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）であり問題ありません。
	75% 未満	CPU 使用率は平均（平均値）です。最大値は（日時）に（最大値）であり、この時間に負荷のかかるタスクが動作していると考えられます。
	75% 以上	CPU 使用率は平均（平均値）です。最大値は（日時）に（最大値）であり、この時間に負荷のかかるタスクが動作していると考えられます。
 正常	50% 未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。今後タスクの追加等を行われる場合は、ご注意ください。
	75% 未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。今後タスクの追加等を行われる場合は、ご注意ください。
	75% 以上	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。今後タスクの追加等を行われる場合は、ご注意ください。
 注意	75% 未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。可能であれば CPU の追加をお勧めします。
	75% 以上	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。可能であれば CPU の追加をお勧めします。
 高負荷	75% 以上	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。早急な上位機種へのアップグレードをお勧めします。

○ メモリ使用状況

診断結果	最大値	コメント
 正常 (余力あり)	—	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。
 正常	—	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、良好な状態です。
 注意	—	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、タスクの追加等は控えられることをお勧めします。
 高負荷	—	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、物理メモリの増設をお勧めします。

○ 仮想メモリ使用状況

診断結果	最大値	コメント
 正常 (余力あり)	—	仮想メモリ使用量は平均（平均値）であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。
 正常	—	仮想メモリ使用量は平均（平均値）であり、良好な状態です。
 注意	—	仮想メモリ使用量は平均（平均値）であり、タスクの追加等は控えられることをお勧めします。
 高負荷	—	仮想メモリ使用量は平均（平均値）であり、物理メモリの増設をお勧めします。

○ ハードディスク 使用率

診断結果	最大値	コメント
 正常 (余力あり)	—	ハードディスク使用量((ドライブ名))は平均（平均値）であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。
 正常	—	ハードディスク使用量((ドライブ名))は平均（平均値）であり、良好な状態です。

 注意	—	ハードディスク使用量(ドライブ名)は平均(平均値)であり、不要なファイルがあれば、削除等の、情報の整理をお勧めします。アプリケーションの追加等を行われる場合はご注意ください。
 高負荷	—	ハードディスク使用量(ドライブ名)は平均(平均値)であり、ハードディスクを増設し、ファイルの移動をお勧めします。

○ 帯域状況

診断結果	最大値	コメント
 正常 (余力あり)	50% 未満	帯域状況(NIC名)は平均(平均値)であり、最大値も(日時)に(最大値)であり十分に余裕があり、特に問題ありません。
	75% 未満	帯域状況(NIC名)は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)であり、この時間に負荷のかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
	75% 以上	帯域状況(NIC名)は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)であり、この時間に負荷のかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
 正常	50% 未満	帯域状況(NIC名)は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)であり、良好な状態です。
	75% 未満	帯域状況(NIC名)は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)であり、この時間に負荷のかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
	75% 以上	帯域状況(NIC名)は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)であり、この時間に負荷のかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
 注意	75% 未満	帯域状況(NIC名)は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)です。ネットワークの物理構成や、回線帯域幅の見直しをお勧めします。
	75% 以上	帯域状況(NIC名)は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)です。ネットワークの物理構成や、回線帯域幅の見直しをお勧めします。
 高負荷	75% 以上	帯域状況(NIC名)は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)です。ブロードキャストストーム等のトラブル発生や、ウイルスによる不要トラフィックの発生が疑われます。詳細な調査をお勧めします。

○ Ping

診断結果	最大値	コメント
------	-----	------

 正常 (余力あり)	90ms 未満	(監視先) との応答時間に問題はありません。
 注意	100ms 未満	(監視先) との疎通に遅延が発生しています。問題のないレベルですが、念のため調査をお勧めします。
 高負荷	100ms 以上	(監視先) との疎通に遅延が発生しています。ハードウェアおよびネットワーク機器の調査が必要です。

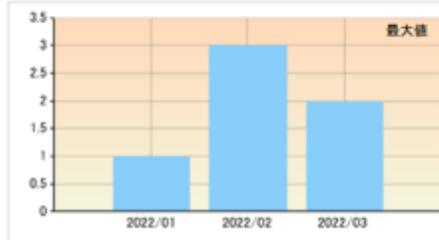
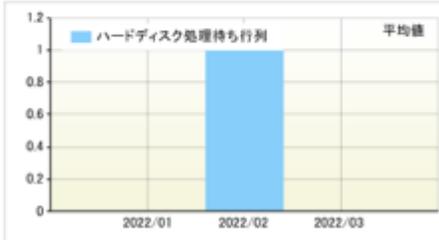
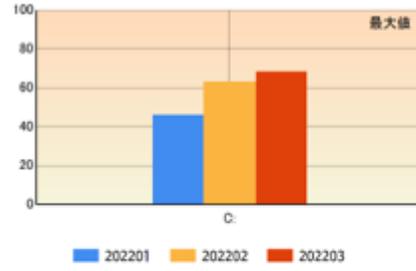
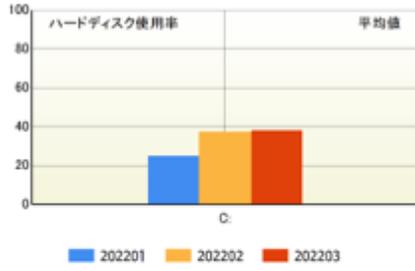
○ パケットロス

診断結果	最大値	コメント
 正常 (余力あり)	1% 未満	—
 高負荷	1% 以上	(監視先) でパケット損失が発生しています。ネットワークや関連機器の動作もしくは相手先を確認して下さい。

2. 過去比較情報 (Windows)

出力期間を元に、前回・前々回とのサマリー情報を比較するためのレポートです。



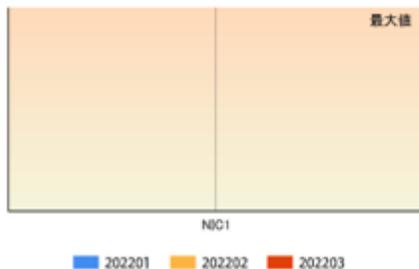
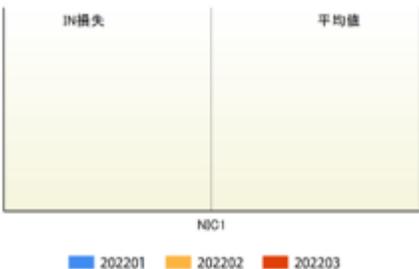
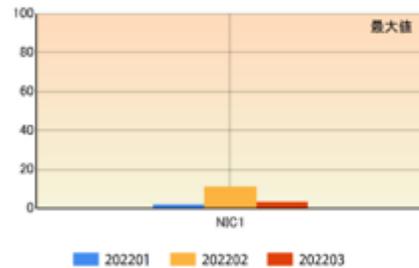
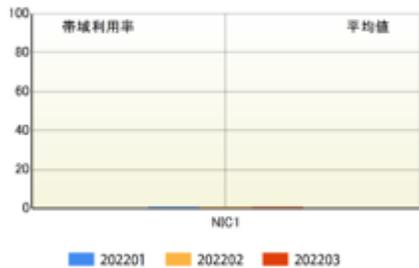


3

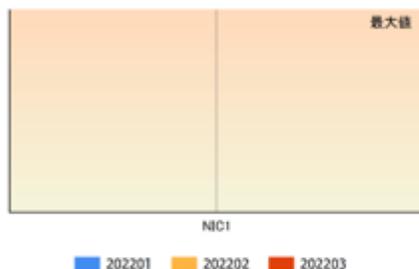
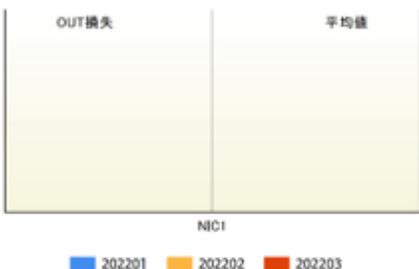
◆ネットワーク診断結果

診断項目	帯域利用率: %, 損失: 回/日	2022/01月		2022/02月		2022/03月	
		平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値
NIC1 Microsoft Hyper-V Network Adapter	帯域利用率	0.01	2.00	0.02	11.00	0.01	3.00
	IN損失	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	OUT損失	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

4



5



(1) 各項目について

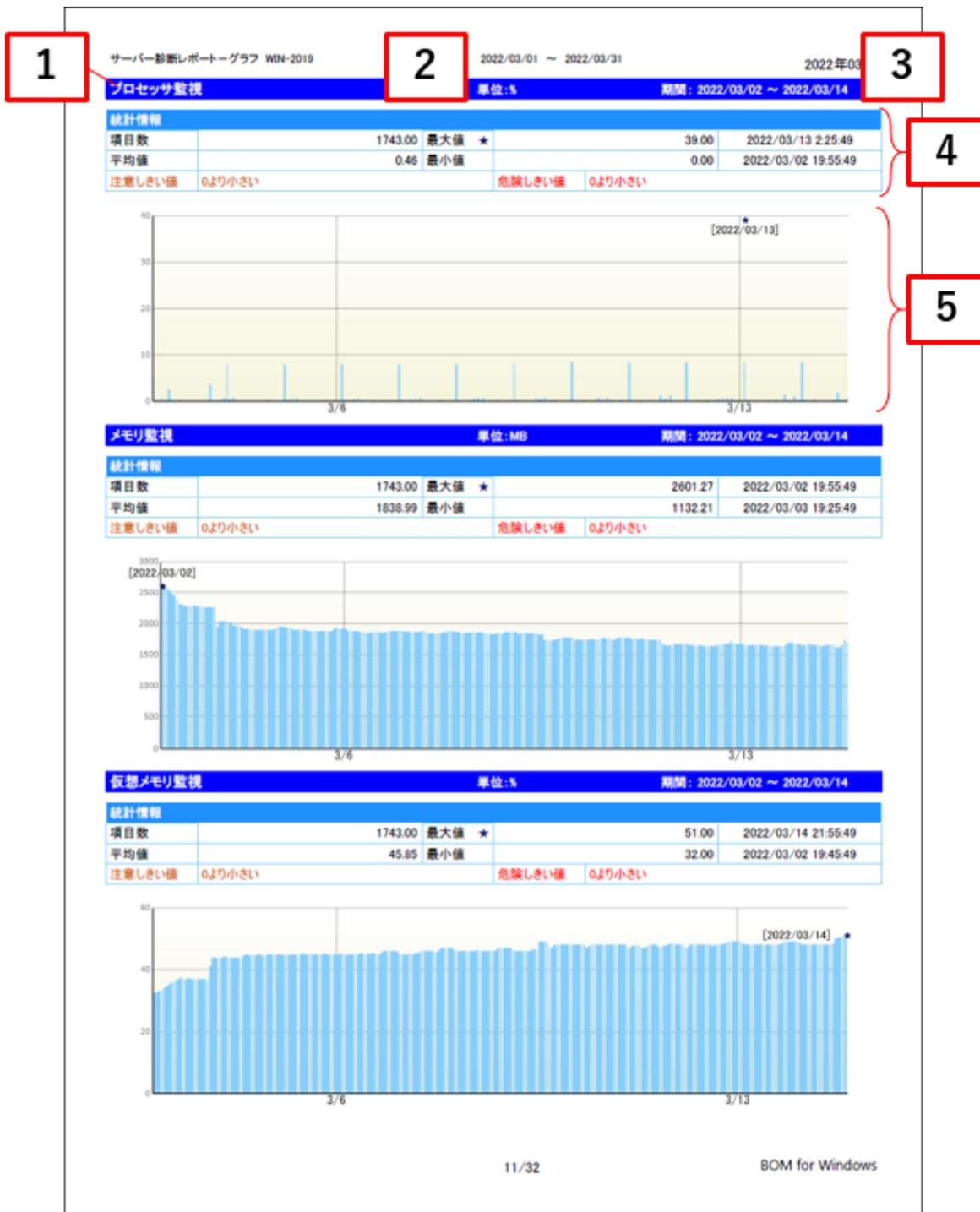
No.	説明
1	BOM 8.0レポート出力ウィザードで指定した出力期間の開始月を表示します。
2	コンピューターリソースの診断結果を、今回、前回、前々回の3回分を表示します。 診断結果自体は、サーバー診断レポートで集計した情報を使用します。
3	コンピューターリソースの診断結果過去比較をグラフにまとめて表示します。 ※ サンプル期間毎に監視データの平均値を算出している為、最大値、最小値などが必ずしもグラフ上に表示されるわけではありません。
4	ネットワークトラフィックの診断結果を、今回、前回、前々回の3回分を表示します。 診断結果自体は、サーバー診断レポートで集計した情報を使用します。
5	ネットワークトラフィックの診断結果過去比較をグラフにまとめて表示します。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（Windows）の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

3. 詳細グラフ情報 (Windows)

各監視項目の稼働状況をグラフにまとめたレポートです。インスタンス上の監視項目をグラフにして表示します。



(1) 各項目について

No.	説明
1	監視項目名を表示します。
2	監視項目で設定している単位を表示します。
3	監視項目で取得したデータのサンプリング期間を表示します。
4	監視項目で取得したデータの統計情報を表示します。
5	監視項目で取得したデータをグラフで表示します。 ※サンプリング期間毎に監視データの平均値を算出している為、最大値、最小値などが必ずしもグラフ上に表示されるわけではありません。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（Windows）の[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)を参照してください。

(3) 特定の監視項目における値について

特定の監視項目では、監視結果をグラフ化するために固定値を使用しています。

監視項目	値	値の意味
サービス監視	1	停止
	2	開始中
	3	停止中
	4	開始
	5	再開中
	6	一時停止中
	7	一時停止
ポート監視	1	ポートは閉鎖状態
	4	ポートは解放状態

4. システム基本情報 (Windows)

監視コンピューターのOS名など、システムの基本情報をまとめたレポートです。

サーバー診断レポート-基本情報 E015-SV		2022/03/01 ~ 2022/03/31	2022年03月
システム基本情報			
項目名	項目値		
コンピューター名	DB-SV		
OS名	Microsoft Windows Server 2016 Standard		
バージョン			
OSインストール日時	2019/04/08 13:44		
OSプロダクトID	XXXXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXX		
システム製造元	Microsoft Corporation		
システムモデル	Virtual Machine		
システムの種類	x64-based PC		
シリアル番号	XXXXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXX		
プロセッサ	Intel(R) Xeon(R) CPU E3-1220 v6 @ 3.00GHz		
組織名			
利用者	Windows ユーザー		
物理メモリ容量	10484752.00 KB (10.00 GB)		
仮想メモリ容量	12123152.00 KB (11.56 GB)		
ハードディスク容量			
ドライブ名	容量		
C:	99.45 GB		
D:	1550.00 GB		

(1) 各項目について

項目名	説明
コンピューター名	監視コンピューターのコンピューター名を表示します。
OS名	監視コンピューターのOS名を表示します。
バージョン	監視コンピューターのサービスパックのバージョンを表示します。
OSインストール日時	監視コンピューターのOSを導入した日時を表示します。
OSプロダクトID	監視コンピューターのOSプロダクトIDを表示します。
システム製造元	監視コンピューターのシステム（ハードウェア）製造元を表示します。
システムモデル	監視コンピューターのシステム（ハードウェア）名を表示します。
システムの種類	監視コンピューターのシステム（ハードウェア）の種類を表示します。
シリアル番号	監視コンピューターに登録されているOSのシリアル番号を表示します。
プロセッサ	監視コンピューターに搭載されているプロセッサの種類を表示します。
組織名	監視コンピューターに登録されている組織名を表示します。
利用者	監視コンピューターに登録されている利用者名を表示します。
物理メモリ容量	監視コンピューターに搭載されている物理メモリの容量を表示します。
仮想メモリ容量	監視コンピューターに設定されている仮想メモリの容量を表示します。
ハードディスク容量	監視コンピューターに設定されているハードディスクのドライブ名、容量を表示します。

※ それぞれの項目は、情報の取得に失敗した場合は表示されません。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（Windows）の['レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧'](#)を参照してください。

5. ハードウェア情報 (Windows)

監視コンピューターに搭載されているハードウェアを一覧にまとめたレポートです。

ハードウェア情報			
順番	カテゴリ	ハードウェア名	詳細情報
1	マザーボード	マザーボード	
2	プロセッサ	Intel(R) Xeon(R) E-2144G CPU @ 3.60GHz	Intel64 Family 6 Model 158 Stepping 10
3	メモリ	メモリ デバイス	
4	メモリ	メモリ配列	
5	IDE ATA/ATAPI コントローラー	ATA Channel 0	IDE Channel
6	IDE ATA/ATAPI コントローラー	ATA Channel 1	IDE Channel
7	IDE ATA/ATAPI コントローラー	Intel(R) 82371AB/EB PCI Bus Master IDE Controller	
8	IDE ATA/ATAPI コントローラー	Standard SATA AHCI Controller	
9	SCSI と RAID コントローラー	LSI Adapter, SAS 3000 series, 8-port with 1068	
10	SCSI と RAID コントローラー	Microsoft Storage Spaces Controller	
11	SCSI と RAID コントローラー	Microsoft VHD Loopback Controller	
12	ディスクドライブ	ディスク #0, パーティション #0	GPT: 不明
13	ディスクドライブ	ディスク #0, パーティション #1	GPT: システム
14	ディスクドライブ	ディスク #0, パーティション #2	GPT: ベーシック データ
15	ディスクドライブ	\\.\PHYSICALDRIVE0	Disk drive
16	DVD/CD-ROM ドライブ	Microsoft Virtual DVD-ROM	CD-ROM Drive
17	DVD/CD-ROM ドライブ	NECVMwar VMware SATA CD00	CD-ROM Drive
18	論理ドライブ	C:	ローカル固定ディスク
19	論理ドライブ	D:	CD-ROM ディスク
20	論理ドライブ	E:	CD-ROM ディスク
21	論理ドライブ	F:	CD-ROM ディスク
22	システム	バス	
23	プラグ アンド プレイ デバイス		
24	プラグ アンド プレイ デバイス	ACPI Fixed Feature Button	
25	プラグ アンド プレイ デバイス	ACPI x64-based PC	
26	プラグ アンド プレイ デバイス	ATA Channel 0	IDE Channel
27	プラグ アンド プレイ デバイス	ATA Channel 1	IDE Channel
28	プラグ アンド プレイ デバイス	Canon LBP251 CARPS2 (リダイレクト 2)	Local Print Queue
29	プラグ アンド プレイ デバイス	Composite Bus Enumerator	
30	プラグ アンド プレイ デバイス	CPU to PCI Bridge	
31	プラグ アンド プレイ デバイス	Direct memory access controller	
32	プラグ アンド プレイ デバイス	EISA programmable interrupt controller	
33	プラグ アンド プレイ デバイス	Fax (リダイレクト 2)	Local Print Queue

1

追加

追加

追加

追加

削除

削除

(1) 各項目について

No	説明
1	監視コンピューターに搭載されているハードウェアを一覧に表示します。 出力期間内に、追加または削除されたハードウェアは背景色を変更して表示します。 - 追加された場合：黄色 - 削除された場合：グレー

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（Windows）の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

6. ソフトウェア情報 (Windows)

監視コンピューターに導入されているソフトウェアを一覧にとまとめたレポートです。

一覧に出力される条件は監視コンピューターのOS上で管理されているアプリケーションのみレポートされます。

サーバー診断レポート-ソフトウェア WN-2019					2022/03/01 ~ 2022/03/31	2022年03月
ソフトウェア情報						
項番	ソフトウェア名	ベンダー	バージョン	インストール日付		
1	BOM for Windows Ver.7.0 SR4	セイ・テクノロジーズ株式会社	7.40.0	2022/03/03	追加	1
2	BOM for Windows Ver.8.0	セイ・テクノロジーズ株式会社	8.0.0	2022/03/02		
3	Microsoft Visual C++ 2019 X64 Additional Runtime - 14.24.28127	Microsoft Corporation	14.24.28127	2021/09/22		
4	Microsoft Visual C++ 2019 X64 Minimum Runtime - 14.24.28127	Microsoft Corporation	14.24.28127	2021/09/22		
5	Microsoft Visual C++ 2019 X86 Additional Runtime - 14.24.28127	Microsoft Corporation	14.24.28127	2021/09/22		
6	Microsoft Visual C++ 2019 X86 Minimum Runtime - 14.24.28127	Microsoft Corporation	14.24.28127	2021/09/22		
7	VMware Tools	VMware, Inc.	11.1.1.16303738	2021/09/22		

21/32

BOM for Windows

(1) 各項目について

No	説明
1	監視コンピューターに搭載されているソフトウェアを一覧に表示します。 出力期間内に、追加または削除されたソフトウェアは背景色を変更して表示します。 - 追加された場合：黄色 - 削除された場合：グレー

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（Windows）の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

7. ハードウェア・ソフトウェア差分情報 (Windows)

"ハードウェア情報"レポートおよび、"ソフトウェア情報"レポートから、前回との差分だけ抽出したレポートです。

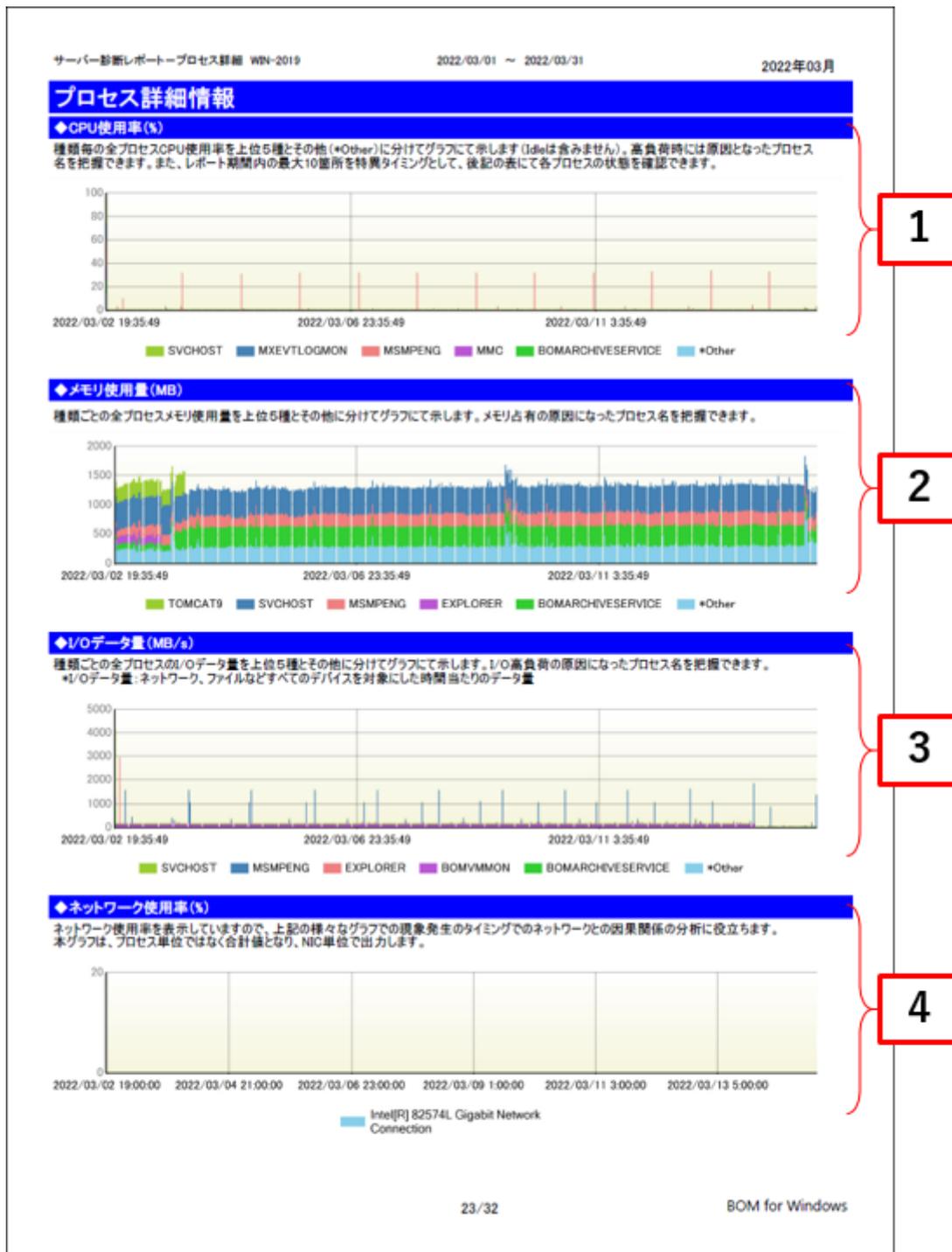
前回と比較して、追加または削除された内容のみを表示します。前回との差分がない場合には出力されません。

サーバー診断レポート-ハードウェア・ソフトウェア差分情報		2022/03/01 ~ 2022/03/31	2022年03月	
ハードウェア・ソフトウェア差分情報				
◆ハードウェア差分情報				
項番	カテゴリ	ハードウェア名	詳細情報	状態
1	SCSI と RAID コントローラー	Microsoft VHD Loopback Controller		追加
2	DVD/CD-ROMドライブ	Microsoft Virtual DVD-ROM	CD-ROM Drive	追加
3	論理ドライブ	E:	CD-ROM ディスク	追加
4	論理ドライブ	F:	CD-ROM ディスク	追加
5	プラグ アンド プレイ デバイス	Canon LBP251 CARPS2 (リダイレクト 2)	Local Print Queue	削除
6	プラグ アンド プレイ デバイス	Fax (リダイレクト 2)	Local Print Queue	削除
7	プラグ アンド プレイ デバイス	Microsoft Print to PDF (リダイレクト 2)	Local Print Queue	削除
8	プラグ アンド プレイ デバイス	Microsoft VHD Loopback Controller		追加
9	プラグ アンド プレイ デバイス	Microsoft Virtual DVD-ROM	CD-ROM Drive	追加
10	プラグ アンド プレイ デバイス	Microsoft XPS Document Writer (リダイレクト 2)	Local Print Queue	削除
11	プラグ アンド プレイ デバイス	OneNote for Windows 10 (リダイレクト 2)	Local Print Queue	削除
12	プラグ アンド プレイ デバイス	Remote Desktop Keyboard Device		削除
13	プラグ アンド プレイ デバイス	Remote Desktop Mouse Device		削除
14	プリンター	Canon LBP251 CARPS2 (リダイレクト 2)		削除
15	プリンター	Fax (リダイレクト 2)		削除
16	プリンター	Microsoft Print to PDF (リダイレクト 2)		削除
17	プリンター	Microsoft XPS Document Writer (リダイレクト 2)		削除
18	プリンター	OneNote for Windows 10 (リダイレクト 2)		削除
19	キーボード	日本語	Remote Desktop Keyboard Device	削除
20	マウス/その他のポインティングデバイス	Remote Desktop Mouse Device		削除
◆ソフトウェア差分情報				
※該当する情報がありません				

8. プロセス詳細情報 (Windows)

監視コンピューターで動作するプロセスのリソース使用状況をまとめたレポートです。

前半にはプロセスのリソース使用状況をグラフで、後半では特にリソースの使用率が高い日時を表でレポートします。



◆CPU使用率特異点リスト

特異点は、CPU使用率の降順です。1つの特異点内の上位5プロセスとその他(*Other)も降順の表示です。
1つの特異点内で、*Otherは必ず表示されますが、該当する上位5プロセスが存在しない場合、プロセス名自体が表示されません。

No	特異点日時	プロセス名	CPU使用率(%)	メモリ使用量(MB)	I/Oデータ量(MB/s)
1	2022/03/13 2:35:49	MSPENG	33.42	243.16	947.68
		SVCHOST	0.20	435.39	5.34
		*Other	0.03	0.00	0.00
		BOMARCHIVESERVICE	0.01	354.41	1.59
		MXEVTLOGMON	0.00	13.04	0.00
2	2022/03/14 2:35:50	MSPENG	33.31	225.95	906.10
		SVCHOST	0.18	479.95	4.96
		*Other	0.05	0.00	0.00
		BOMARCHIVESERVICE	0.01	354.15	1.70
		MXEVTLOGMON	0.00	13.05	0.00
3	2022/03/12 2:35:49	MSPENG	33.13	221.65	907.06
		SVCHOST	0.17	412.03	4.99
		*Other	0.04	0.00	0.00
		BOMARCHIVESERVICE	0.01	346.18	1.51
		MXEVTLOGMON	0.00	13.04	0.00
4	2022/03/09 2:35:49	MSPENG	32.38	215.98	926.48
		SVCHOST	0.18	447.48	5.06
		*Other	0.05	0.00	0.00
		BOMARCHIVESERVICE	0.01	344.47	1.17
		MXEVTLOGMON	0.00	12.98	0.00
5	2022/03/11 2:35:49	MSPENG	32.31	222.86	908.20
		SVCHOST	0.18	440.66	5.03
		*Other	0.04	0.00	0.00
		MXEVTLOGMON	0.00	13.01	0.00
		BOMARCHIVESERVICE	0.00	344.32	1.38
6	2022/03/04 2:35:49	MSPENG	32.26	194.23	911.47
		SVCHOST	0.19	436.18	4.75
		*Other	0.05	0.00	0.00
		BOMARCHIVESERVICE	0.01	342.33	0.63
		MXEVTLOGMON	0.00	12.98	0.00
7	2022/03/10 2:35:49	MSPENG	32.11	236.79	907.92
		SVCHOST	0.17	443.86	5.12
		*Other	0.06	0.00	0.00
		BOMARCHIVESERVICE	0.00	346.48	1.27
		MXEVTLOGMON	0.00	13.02	0.00
8	2022/03/06 2:35:49	MSPENG	31.94	203.48	906.26
		SVCHOST	0.19	434.40	5.61
		*Other	0.06	0.00	0.00
		BOMARCHIVESERVICE	0.01	343.52	0.85
		MXEVTLOGMON	0.00	12.98	0.00
9	2022/03/08 2:35:49	MSPENG	31.90	232.99	906.54
		SVCHOST	0.18	422.50	5.11
		*Other	0.03	0.00	0.00
		BOMARCHIVESERVICE	0.00	344.39	1.06
		MXEVTLOGMON	0.00	12.99	0.00
10	2022/03/07 2:35:49	MSPENG	31.69	206.23	906.21
		SVCHOST	0.18	436.40	6.49
		*Other	0.03	0.00	0.00
		BOMARCHIVESERVICE	0.01	344.21	0.95
		MXEVTLOGMON	0.00	13.00	0.00

5

(1) 各項目について

No	説明
1	監視コンピューターで動作するプロセスのうち、全プロセスのCPU使用率を上位5種とその他（*Other）に分けてグラフにて示します（Idleは含みません）。
2	監視コンピューターで動作するプロセスのうち、全プロセスのメモリ使用量を上位5種とその他に分けてグラフにて示します。
3	監視コンピューターで動作するプロセスのうち、全プロセスのI/Oデータ量を上位5種とその他に分けてグラフにて示します。
4	監視コンピューターのネットワーク使用率をグラフで表示します。
5	出力期間内で、特にリソース使用率が高い日時を上位から10抽出し、プロセス名と利用状況を一覧で表示します。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（Windows）の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

9. ディスククォータ情報 (Windows)

監視コンピューターのディスククォータ情報をまとめたレポートです。

サーバー診断レポート-ディスククォータ Q1-W16-05 2021/12/01 ~ 2022/02/28 2022年02月

ディスククォータ情報

複数ユーザーが共有しているドライブに対して、ユーザー単位で使用容量制限を設定するディスククォータの一覧表を示します。
 制限量の設定がない場合と設定された初回時は、「前回差」は「-」となります。
 クォータ使用量が警告量を超えると「クォータ使用率」が警告色の背景になり、使用率の前回との差が5%を超えると「前回差」が警告色の背景になります。

◆ドメイン別使用量

ドメイン	ドライブ	クォータ使用率 (%)	前回差 (%)	クォータ割当量 (MB)	ドライブ容量 (GB)
NT SERVICE	C:	15.69	-0.08	73728.00	79.51
Q1-W16-05	C:	32.36	0.30	31744.00	79.51
Q1-W16-05	E:	42.06	41.47	2048.00	10.00
Q1-W16-05	F:	0.29	0.00	4196.00	10.00
Q1-W16-05	H:	0.79	0.00	1524.00	10.00

◆ログオン名別使用量

ログオン名	ドライブ	クォータ使用率 (%)	前回差 (%)	警告量 (MB)	制限量 (MB)
NT SERVICE\MapsBroker	C:	0.00	0.00	500.00	5120.00
NT SERVICE\MsDtsServer130	C:	0.06	0.00	100.00	1024.00
NT SERVICE\MSSQLFDLauncher	C:	0.01	0.00	50.00	10240.00
NT SERVICE\MSSQLLaunchpad	C:	0.02	0.00	800.00	3072.00
NT SERVICE\MSSQLSERVER	C:	125.18	-1.81	2000.00	3072.00
NT SERVICE\MSSQLServerOLAPService	C:	0.03	-0.03	500.00	5120.00
NT SERVICE\ReportServer	C:	0.34	0.00	600.00	5120.00
NT SERVICE\SQLSERVERAGENT	C:	0.01	0.00	300.00	5120.00
NT SERVICE\SQLTELEMETRY	C:	0.01	0.00	100.00	10240.00
NT SERVICE\SASSTELEMETRY	C:	0.01	0.00	0.49	5120.00
NT SERVICE\SASSTELEMETRY130	C:	0.01	0.00	0.49	10240.00
NT SERVICE\TrustedInstaller	C:	75.21	0.00	300.00	10240.00
Q1-W16-05\Administrator	C:	0.00	0.00	100.00	10240.00
Q1-W16-05\Administrator	F:	0.00	-	50.00	100.00
Q1-W16-05\LOCAL SERVICE	C:	2.57	0.22	300.00	5120.00
Q1-W16-05\NETWORK SERVICE	C:	4.36	0.00	500.00	1024.00
Q1-W16-05\QATEST	C:	0.79	-	100.00	10240.00
Q1-W16-05\QATEST	E:	82.94	-	300.00	1024.00
Q1-W16-05\QATEST	F:	0.00	-	200.00	1024.00

1/2 BOM for Windows

(1) 各項目について

No	説明
1	ドメイン内でのクォータ割当容量に対する使用容量をもとにクォータ使用率を算出して表示します。
2	各ユーザーのクォータ割当容量に対する使用容量をもとにクォータ使用率を算出して表示します。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（Windows）の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

10. アプリケーションログ情報 (Windows)

監視コンピューターのイベントログ監視 (アプリケーション) の結果を簡単にまとめたサマリーレポートです。

サーバー診断レポート-アプリケーションログ E3FW2012R2-2 2022/02/01 ~ 2022/02/28 2022年02月

アプリケーションログ情報 (ソース別サマリー)

構成変更や障害、セキュリティ監査など、OSで発生する様々な事象を記録するイベントログを期間内のサマリーとしてイベントソース毎の構成と詳細を表にて示します。日常運用やトラブル発生時の対処、リソース計画などへの管理者の情報源になります。

◆ログ構成

ソース	エラー	警告	合計
Microsoft-Windows-Defrag	9		9
Microsoft-Windows-Perflib	1		1
Microsoft-Windows-Winlogon		2	2
合計	10	2	12

◆ログメッセージ概要

初回発生日時	最終発生日時	ソース	イベントID	種類	発生回数	メッセージ
2022/02/21 16:19:03	2022/02/23 2:37:07	Microsoft-Windows-Defrag	257	エラー	9	エラーが発生したため、ボリューム システムで予約済み は最適化されませんでした: パラメーターが間違っています。(0x80070057)
2022/02/25 10:21:59	2022/02/25 10:21:59	Microsoft-Windows-Perflib	1008	エラー	1	サービス "BITS" (DLL "C:\Windows\System32\Whitsperf.dll") の Open プロシージャに失敗しました。このサービスのパフォーマンス データは利用できません。データ セクションの最初の 4 バイト (DWORD) に、エラー コードが含まれています。
2022/02/25 10:21:07	2022/02/25 10:21:07	Microsoft-Windows-Winlogon	6005	警告	1	winlogon 通知サブスクライバー <TrustedInstaller> による通知イベント (CreateSession) の処理に長い時間がかかっています。
2022/02/25 10:21:48	2022/02/25 10:21:48	Microsoft-Windows-Winlogon	6006	警告	1	winlogon 通知サブスクライバー <TrustedInstaller> で通知イベント (CreateSession) の処理に 101 秒かかりました。

22/28 BOM for Windows

(1) 各項目について

No	説明
1	メッセージの種類毎に件数を報告します。
2	メッセージの種類が"重大"、"エラー"、または"失敗の監査"であれば、同一のイベントソース、イベントIDについて件数を集計し、集計した同類のメッセージ毎に表示します。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（Windows）の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

11. システムログ情報 (Windows)

監視コンピューターのイベントログ監視 (システム) の結果を簡単にまとめたサマリーレポートです。

2022年02月

2022/02/01 ~ 2022/02/28

サーバー診断レポート-システムログ E3FW2022

システムログ情報(ソース別サマリー)

構成変更や障害、セキュリティ監査など、OSで発生する様々な事象を記録するイベントログを期間内のサマリーとしてイベントソース毎の構成と詳細を表にて示します。日常運用やトラブル発生時の対処、リソース計画などへの管理者の情報源になります。

◆ログ構成

ソース	エラー	警告	合計
Microsoft-Windows-DistributedCOM	1		1
Microsoft-Windows-Time-Service		1	1
Microsoft-Windows-WinRM		1	1
Schannel	1		1
Service Control Manager	4		4
合計	6	2	8

◆ログメッセージ概要

初回発生日時	最終発生日時	ソース	イベントID	種類	発生回数	メッセージ
2022/02/25 10:13:44	2022/02/25 10:13:44	Microsoft-Windows-DistributedCOM	10010	エラー	1	サーバー {9BA05972-F6A8-11CF-A442-00A0C90A8F3} は、必要なタイムアウト期間内に DOOM に登録しませんでした。
2022/02/27 5:25:11	2022/02/27 5:25:11	Microsoft-Windows-Time-Service	36	警告	1	使用可能なタイムスタンプがタイムサービスプロバイダーによって提供されなかったため、タイムサービスは 86400 秒間、システム時刻を同期していません。タイムサービスは、タイムソースと同期できるようになるまで、ローカルのシステム時刻を更新しません。ローカルシステムがクライアントの時刻サーバーとして機能するように構成されている場合は、タイムソースとしてクライアントにアドバタイズすることを止めます。タイムサービスは継続してタイムソースとの同期を試みます。詳細については、他の W32time イベントのシステムイベントログを確認してください。w32tm /resync を実行すると、時刻の同期を即座に強制実施できます。
2022/02/25 10:16:12	2022/02/25 10:16:12	Microsoft-Windows-WinRM	10149	警告	1	WinRM サービスは、WS-Management 要求をリクスしていません。 ユーザー操作 意図的にサービスを停止していない場合、次のコマンドを使用して WinRM 構成を確認してください。 winrm enumerate winrm/config/listener
2022/02/21 16:20:38	2022/02/21 16:20:38	Schannel	36887	エラー	1	リモートエンドポイントから致命的な警告を受け取りました。TLS プロトコルで定義されているこの致命的な警告のコードは 70 です。
2022/02/25 10:21:36	2022/02/25 10:21:36	Service Control Manager	7034	エラー	4	BOM7Archive\$WSUS02 サービスは予期せぬ原因により終了しました。このサービスの強制終了は 1 回目です。

23/28 BOM for Windows

1

2

(1) 各項目について

No	説明
1	メッセージの種類毎に件数を報告します。
2	メッセージの種類が“重大”、“エラー”、または“失敗の監査”であれば、同一のイベントソース、イベントID について件数を集

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（Windows）の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

12. セキュリティログ情報 (Windows)

監視コンピューターのイベントログ監視 (セキュリティ) の結果を簡単にまとめたサマリーレポートです。

サーバー診断レポート-セキュリティログ (SAMM)-01 (5/21/2022)
2022/03/01 ~ 2022/03/31
2022年03月

セキュリティログ情報(ソース別サマリー)

構成変更や障害、セキュリティ監査など、OSで発生する様々な事象を記録するイベントログを期間内のサマリーとしてイベントソース毎の構成と詳細を表にて示します。日常運用やトラブル発生時の対処、リソース計画などへの管理者の情報源になります。

◆ログ構成

ソース	失敗の監査	成功の監査	合計
Microsoft-Windows-Security-Auditing	11554	607	12161
合計	11554	607	12161

◆ログメッセージ概要

初回発生日時	最終発生日時	ソース	イベントID	種類	発生回数	メッセージ
2022/03/17 19:11:02	2022/03/23 19:18:58	Microsoft-Windows-Security-Auditing	4799	成功の監査	21	セキュリティが有効なローカル グループ メンバーシップが列挙されました。 サブジェクト: SYSTEM セキュリティ ID: _____ アカウント名: EC2AMAZ-IGUARGG\$ アカウント ドメイン: WORKGROUP ログオン ID: 0x3E7 グループ: Administrators セキュリティ ID: _____ Administrators グループ名: Administrators グループ ドメイン: BuiltIn プロセス情報: 0x60 プロセス ID: 0x60
2022/03/17 19:10:58	2022/03/23 6:32:14	Microsoft-Windows-Security-Auditing	4776	成功の監査	61	コンピューターがアカウントの資格情報の確認を試行しました。 認証パッケージ: MICROSOFT_AUTHENTICATION_PACKAG E.V1.0 ログオン アカウント: _____ ソース ワークステーション: SATELLITEL41 エラー コード: 0x0
2022/03/17 19:23:09	2022/03/17 19:23:09	Microsoft-Windows-Security-Auditing	4731	成功の監査	1	セキュリティが有効なローカル グループが作成されました。 サブジェクト: _____ セキュリティ ID: _____ アカウント名: _____ アカウント ドメイン: _____ EC2AMAZ-IGUARGG ログオン ID: 0x86AD2 新しいグループ: 1 セキュリティ ID: _____ SQLServer2017SQLBrowserUser\$EC2AMA Z-IGUARGG グループ名: SQLServer2017SQLBrowserUser\$EC2AMA Z-IGUARGG グループ ドメイン: EC2AMAZ-IGUARGG 属性: - SAM アカウント名: SQLServer2017SQLBrowserUser\$EC2AMA Z-IGUARGG SID の履歴: _____ 追加情報: - 特権: _____

41/55
BOM for Windows

1

2

(1) 各項目について

No	説明
1	メッセージの種類毎に件数を報告します。
2	メッセージの種類が"重大"、"エラー"、または"失敗の監査"であれば、同一のイベントソース、イベントIDについて件数を集計し、集計した同類のメッセージ毎に表示します。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（Windows）の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

13. セキュリティログ詳細 (Windows)

監視コンピューターのセキュリティログ監視の結果をまとめたレポートです。

セキュリティログを"ログオン・ログオフ"、"ファイルアクセス"、"プロセス起動・終了"、"管理者操作"、"その他"の項目に分類し、それぞれの分類毎にログを集計後、同類メッセージ毎に表示します。

サーバー診断レポート-セキュリティログ詳細 11 ID: 06LE0Y1Z 2022/03/01 ~ 2022/03/31 2022年03月

セキュリティログ詳細

◆ログオン・ログオフ

初回 発生日時	最終 発生日時	サーバー	ユーザー	操作	発生 回数
2022/03/01 4:55:51	2022/03/31 23:58:34	EX-SQLSV12	N/A	アカウントが正常にログオンしました。	16627
2016/12/01 4:55:51	2016/12/31 23:58:34	EX-SQLSV12	N/A	新しいログオンに特権が割り当てられました。	16625
2022/03/01 11:17:51	2022/03/31 23:58:47	EX-SQLSV12	N/A	アカウントがログオフしました。	16304
2016/12/01 13:25:21	2016/12/31 22:59:53	EX-SQLSV12	N/A	明示的な資格情報を使用してログオンが試行されました。	123
2022/03/01 13:24:09	2022/03/26 16:24:25	EX-SQLSV12	N/A	アカウントがログオンに失敗しました。	18
2016/12/01 11:17:51	2016/12/15 17:06:24	EX-SQLSV12	N/A	ユーザー開始のログオフ	2

◆ファイルアクセスログ

初回 発生日時	最終 発生日時	サーバー	ユーザー	操作	発生 回数
2022/03/01 10:01:01	2022/03/31 12:24:24	EX-SQLSV12	N/A	オブジェクトに対して操作が実行されました。	12
2016/12/01 10:01:01	2016/12/31 12:24:24	EX-SQLSV12	N/A	オブジェクトに対するハンドルが要求されました。	10

◆プロセス起動・終了ログ

初回 発生日時	最終 発生日時	サーバー	ユーザー	操作	発生 回数
2022/03/03 12:50:12	2022/03/13 21:10:11	EX-SQLSV12	N/A	プロセスが終了しました。	35
2016/12/03 16:01:07	2016/12/13 23:54:59	EX-SQLSV12	N/A	新しいプロセスが作成されました。	30

◆管理者操作ログ

初回 発生日時	最終 発生日時	サーバー	ユーザー	操作	発生 回数
2022/03/15 12:57:53	2022/03/15 17:40:36	EX-SQLSV12	N/A	オブジェクトの監査設定が変更されました。	5991
2016/12/01 22:00:10	2016/12/31 22:00:10	EX-SQLSV12	N/A	セキュリティ イベント ソースの登録解除が試行されました。	31
2022/03/01 22:00:10	2022/03/31 22:00:10	EX-SQLSV12	N/A	セキュリティ イベント ソースの登録が試行されました。	31
2016/12/04 2:46:43	2016/12/26 3:43:12	EX-SQLSV12	N/A	システム時刻が変更されました。	17
2022/03/15 17:29:46	2022/03/15 17:29:46	EX-SQLSV12	N/A	ユーザーごとの監査ポリシー テーブルが作成されました。	1
2016/12/15 17:29:41	2016/12/15 17:29:41	EX-SQLSV12	N/A	Windows を起動しています。	1

◆その他ログ

初回 発生日時	最終 発生日時	サーバー	ユーザー	操作	発生 回数
2022/03/01 13:25:20	2022/03/31 23:58:34	EX-SQLSV12	N/A	コンピューターがアカウントの資格情報の確認を試行しました。	16306
2016/12/15 17:30:35	2016/12/15 17:30:35	EX-SQLSV12	N/A	Windows ファイアウォール サービスが正常に開始されました。	1
2022/03/15 17:30:27	2022/03/15 17:30:27	EX-SQLSV12	N/A	Windows ファイアウォール ドライバーが正常に開始しました。	1

1/1 BOM for Windows

1

2

3

4

5

(1) 各項目について

No	説明
1	ログオン・ログオフ関連のセキュリティログを集計して表示します。
2	ファイルアクセス関連のセキュリティログを集計して表示します。
3	プロセス起動・終了関連のセキュリティログを集計して表示します。
4	管理者操作関連のセキュリティログを集計して表示します。
5	"ログオン・ログオフ"、"ファイルアクセス"、"プロセス起動・終了"、"管理者操作"に該当しないセキュリティログを集計して表示します。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（Windows）の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

14. Arcserve UDP ログリスト

Arcserve UDP ログリスト

1

2

サーバー名	TESTSERVER	対象期間	2022/03/01 ~ 2022/03/31
--------------	------------	-------------	-------------------------

◆ サマリー

ソース	情報	詳細	警告	エラー	重大	その他	合計
Arcserve UDP	4	0	1	1	0	0	6

◆ ログリスト

ソース	ID	レベル	日付	メッセージ
Arcserve UDP	100	情報	2022/03/21 14:03:50	データストア管理サービスが 復旧ポイントサーバ "TESTSERVER" で停止しました。
Arcserve UDP	100	情報	2022/03/21 14:03:55	データストア管理サービスが 復旧ポイントサーバ "TESTSERVER" で開始しました。
Arcserve UDP	102	警告	2022/03/21 16:43:20	<p>ソース "Arcserve UDP" からのイベント ID 102 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピュータにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカル コンピュータにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。</p> <p>イベントが別のコンピュータから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。</p> <p>イベントには次の情報が含まれています:</p> <p>警告発生テスト</p>
Arcserve UDP	102	情報	2022/03/21 17:14:21	<p>ソース "Arcserve UDP" からのイベント ID 102 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピュータにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカル コンピュータにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。</p> <p>イベントが別のコンピュータから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。</p> <p>イベントには次の情報が含まれています:</p> <p>情報発生テスト</p>
Arcserve UDP	102	情報	2022/03/21 17:14:26	<p>ソース "Arcserve UDP" からのイベント ID 102 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピュータにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカル コンピュータにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。</p> <p>イベントが別のコンピュータから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。</p> <p>イベントには次の情報が含まれています:</p> <p>情報発生テスト</p>
Arcserve UDP	102	エラー	2022/03/21 17:14:55	<p>ソース "Arcserve UDP" からのイベント ID 102 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピュータにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカル コンピュータにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。</p> <p>イベントが別のコンピュータから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。</p> <p>イベントには次の情報が含まれています:</p> <p>監査の失敗発生テスト</p>

1/1

BOM for Windows

3

4

(1) 各項目について

No	説明
1	レポート対象の監視インスタンス名を表示します。
2	レポートの出力対象期間を表示します。
3	Arcserve UDPの検知したログ集計値を一覧で表示します。
4	Arcserve UDPの検知したログ詳細を一覧で表示します。

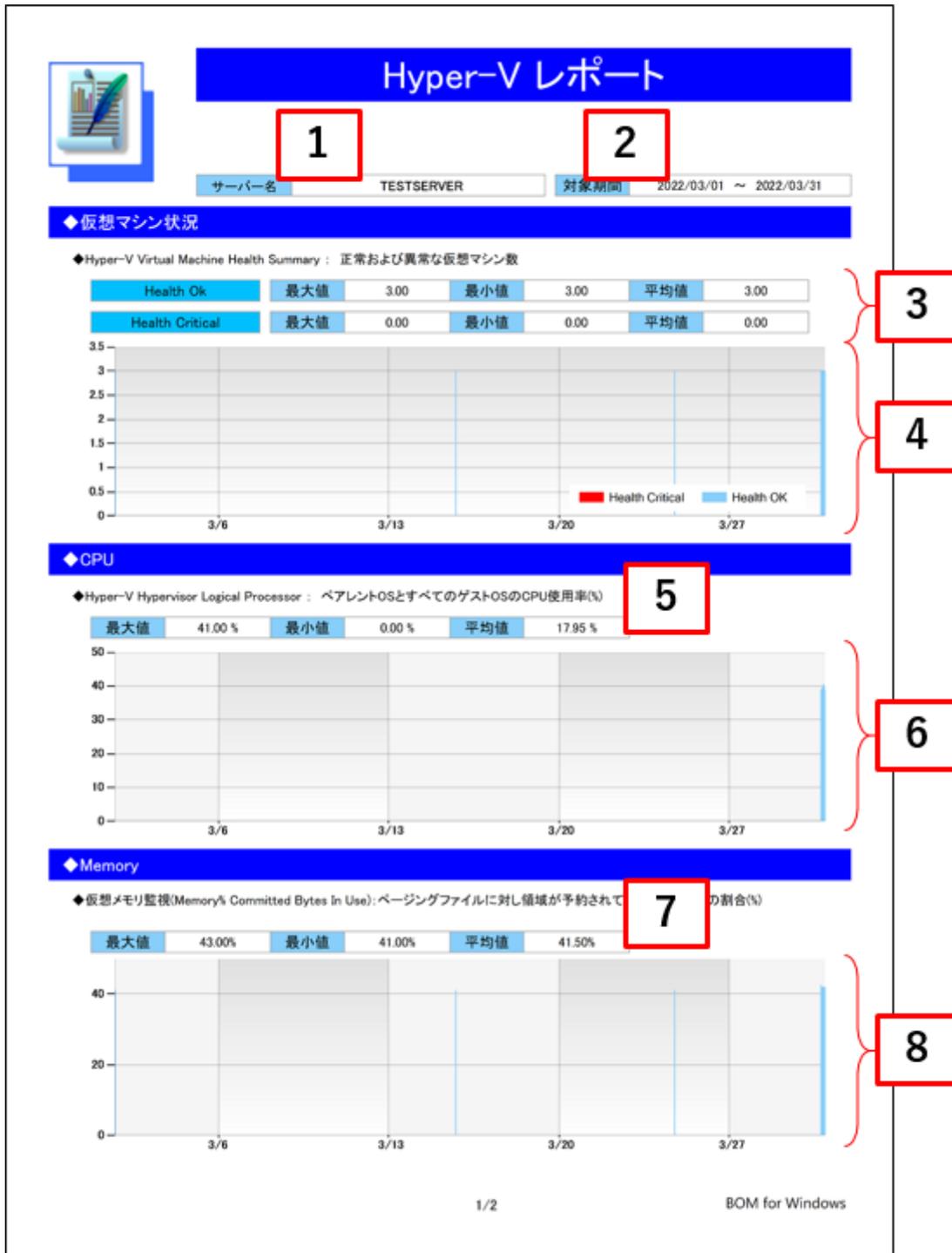
(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

レポートデータベース設定ウィザードで指定する際に使用する一覧表です。

- 監視テンプレート名 : **Arcserve UDPv6_6.5_7_8ログ取得レポート用**

監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
Arcserve UDPv6/v6.5/v7/v8ログ取得	Arcserve UDP アプリケーションログ監視	Evtlog

15. Hyper-Vレポート



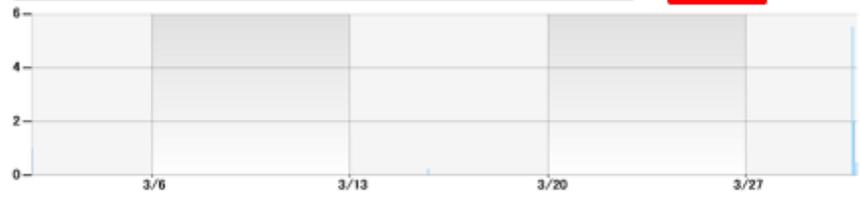
◆HDD

◆Total

◆ディスク処理待ち行列長監視(PhysicalDisk Current Disk Queue Length) : 待ち行列にある要求数

最大値 10.00 最小値 0.00 平均値 0.91

9



10

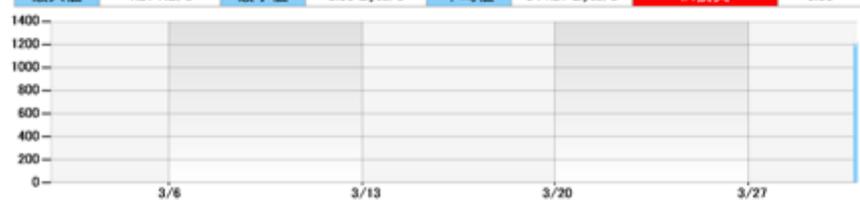
◆Network

◆Intel[R] 82574L Gigabit Network Connection

◆Network Interface Received Bytes Total/sec : 受信バイト数(Byte/s)

最大値 1.21 KB/s 最小値 0.00 Byte/s 平均値 544.27 Byte/s IN損失 0.00

11



12

◆Network Interface Sent Bytes Total/sec : 送信バイト数(Byte/s)

最大値 396.00 Byte/s 最小値 0.00 Byte/s 平均値 169.45 Byte/s OUT損失 0.00

13



14

(1) 各項目について

No	説明
1	レポート対象の監視インスタンス名を表示します。
2	レポートの出力対象期間を表示します。
3	Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Critical 監視および、Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Ok 監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値を表示します。
4	Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Critical 監視および、Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Ok 監視で取得したデータをグラフ表示します。
5	Hyper-V Hypervisor Logical Processor -> % Total Run Time 監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値を表示します。
6	Hyper-V Hypervisor Logical Processor -> % Total Run Time 監視で取得したデータをグラフ表示します。
7	仮想メモリ監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値を表示します。
8	仮想メモリ監視で取得したデータをグラフ表示します。
9	ディスク処理待ち行列長監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値を表示します。
10	ディスク処理待ち行列長監視で取得したデータをグラフ表示します。
11	NIC1ネットワーク受信バイト率監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値およびNIC1ネットワーク受信エラー発生回数監視で取得したエラー発生回数を表示します。
12	NIC1ネットワーク受信バイト率監視で取得したデータをグラフ表示します。
13	NIC1ネットワーク送信バイト率監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値およびNIC1ネットワーク送信エラー発生回数監視で取得したエラー発生回数を表示します。
14	NIC1ネットワーク送信バイト率監視で取得したデータをグラフ表示します。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

レポートデータベース設定ウィザードで指定する際に使用する一覧表です。

- 監視テンプレート名 : **Hyper-Vレポート用**

監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
Hyper-V Overall health	Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Critical 監視	HPVHealthCritical
	Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Ok 監視	HPVHealthOK
Hyper-V Processor	Hyper-V Hypervisor Logical Processor -> % Total Run Time 監視	HPVLogicalProcessor
Hyper-V Resources	仮想メモリ監視	PerfMemCBytesInUse
	ディスク処理待ち行列長監視	PerfPDiskCurDiskQueueLength
	NIC1 ネットワーク受信バイト率	PerfNICBytesReceived
	NIC1 ネットワーク受信エラー発生回数	PerfNICPacketRcvErr
	NIC1 ネットワーク送信バイト率	PerfNICBytesSent
	NIC1 ネットワーク送信エラー発生回数	PerfNICPacketOutbErr
	NIC2 ネットワーク受信バイト率	PerfNICBytesReceived
	NIC2 ネットワーク受信エラー発生回数	PerfNICPacketRcvErr
	NIC2 ネットワーク送信バイト率	PerfNICBytesSent
	NIC2 ネットワーク送信エラー発生回数	PerfNICPacketOutbErr

16. サーバー診断レポート (Linux)

監視コンピューターの稼働状況を簡単にまとめたサマリーレポートです。

サーバー診断レポート

サーバーが **1** 一周の診断結果をレポートします。 **2**

サーバー名: 対象期間:

◆総合評価

 **3** Good !!

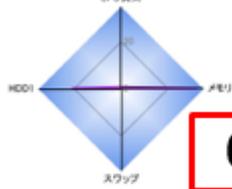
コメント: 本サーバーに問題はありません。良好な状態です。

◆サーバー診断結果

診断項目	総容量	平均値	最大値	診断
CPU負荷状況 (= 100 - IdleTime%)	-	0.55 %	16.00 %	✓
メモリ使用状況	3.65 GB	32.60 %	33.83 %	✓
スワップ使用状況	-	0.00 %	0.00 %	✓
ハードディスク使用率	HDD1 /dev/sda1	975.90 MB	21.00 %	✓

4

コメント: CPU使用率は平均0.55%であり、最大値も3月18日5時24分に16.00%であり問題ありません。物理メモリ使用率は平均32.60%であり、良好な状態です。スワップメモリ使用率は平均0.00%であり、良好な状態です。ハードディスク使用率(/dev/sda1)は平均21.00%であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。



5 **6**

◆ネットワーク診断結果

受信/送信量と損失	平均値	最大値	診断
NIC1	0.00 Mbps	0.04 Mbps	✓
ens192	0.00 Mbps	0.00 Mbps	✓
IN損失	-	0.00 件	✓
OUT損失	-	0.00 件	✓

7

コメント: 受信量(NIC1)は平均0.00Mbpsであり、最大値も3月8日22時19分に0.04Mbpsであり十分に余裕があり、特に問題ありません。送信量(NIC1)は平均0.00Mbpsであり、最大値も3月9日12時19分に0.00Mbpsであり十分に余裕があり、特に問題ありません。

8

(1) 各項目について

No	説明
1	レポート対象のサーバー名を表示します。
2	レポートの出力対象期間を表示します。
3	コンピューターリソースの診断結果、ネットワークトラフィック診断結果を合わせたコンピューター総合評価をそれぞれの診断結果を基にコメントを自動生成します。また、総合評価に合致したアイコンを表示します。
4	コンピューターリソースの診断結果を表示します。 ステータスは、監視コンピューター上の監視項目から情報を取得し、判定基準に沿って決定します。
5	コンピューターリソースの診断結果を元にコメントを自動生成します。
6	コンピューターリソースの診断結果をチャートにまとめて表示します。
7	ネットワークトラフィックの診断結果を表示します。 ステータスは、監視コンピューター上の監視項目から情報を取得し、判定基準に沿って決定します。
8	ネットワークトラフィックの診断結果を元にコメントを自動生成します。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

レポートデータベース設定ウィザードで指定する際に使用する一覧表です。

- 監視テンプレート名 : **Linuxサーバー診断レポート用**

監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
Linux レポート向け監視項目	Linux Idle監視	Linux_Idle
	Linux LoadAverage監視	Linux_LoadAvg
	Linux メモリ監視	Linux_MemABytes
	Linux スワップメモリ監視	Linux_SwapPageAccount
	Linux ディスクアクセス監視	Linux_IORequest
	Linux sda1 ディスク容量監視	Linux_DiskFreeSpace
	Linux sda2 ディスク容量監視	Linux_DiskFreeSpace
	Linux VolGroup00-LogVol00 ディスク容量監視	Linux_DiskFreeSpace
	Linux NIC1 ネットワーク送信総バイト数監視	Linux_PerfNICBytesSent
	Linux NIC1 ネットワーク受信総バイト数監視	Linux_PerfNICBytesReceived
	Linux NIC1 ネットワーク送信エラー発生回数	Linux_PerfNICPacketOutbErr
	Linux NIC1 ネットワーク受信エラー発生回数	Linux_PerfNICPacketRcvErr
	Linux NIC2 ネットワーク送信総バイト数監視	Linux_PerfNICBytesSent
	Linux NIC2 ネットワーク受信総バイト数監視	Linux_PerfNICBytesReceived
	Linux NIC2 ネットワーク送信エラー発生回数	Linux_PerfNICPacketOutbErr
	Linux NIC2 ネットワーク受信エラー発生回数	Linux_PerfNICPacketRcvErr
	/var/log/messages ログ要注意キーワード監視	Linux_Evtlog
	/var/log/secureログ要注意キーワード監視	Linux_Evtlog

(3) サマリー情報の診断結果

サーバー診断レポートの診断結果は、平均値と最大値を考慮して設定します。

- 診断結果

サーバー診断レポートで表示される診断結果およびアイコンは、以下の値で設定しています。

診断項目名	 正常 (余力あり)	 正常	 注意	 高負荷
CPU 負荷状況	平均 25% 未満	平均 50% 未満	平均 75% 未満	平均 75% 以上
メモリ使用状況	平均 25% 未満	平均 50% 未満	平均 75% 未満	平均 75% 以上
スワップ使用状況	平均 25% 未満	平均 50% 未満	平均 75% 未満	平均 75% 以上
ハードディスク使用率	平均 25% 未満	平均 50% 未満	平均 75% 未満	平均 75% 以上
受信/送信量	平均 250Mbps 未満	平均 500Mbps 未満	平均 750Mbps 未満	平均 750Mbps 以上
IN/OUT 損失発生回数	—	0 件/日	1 件/日未満	1 件/日以上

- コメント

サーバー診断レポートのコメントは、診断結果を元に、最大値の情報を加味して設定しています。

なお、以下の表で"（平均値）"、"（日時）"、"（最大値）"、"（ドライブ名）"、"（NIC名）"と表記している箇所には、実際の監視コンピューターの情報が入ります。

- CPU負荷状況

診断結果	最大値	コメント
 正常 (余力あり)	50% 未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）であり問題ありません。
	75% 未満	CPU 使用率は平均（平均値）です。最大値は（日時）に（最大値）であり、この時間に負荷のかかるタスクが動作していると考えられます。
	75% 以上	CPU 使用率は平均（平均値）です。最大値は（日時）に（最大値）であり、この時間に負荷のかかるタスクが動作していると考えられます。
 正常	50% 未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。今後タスクの追加等を行われる場合は、ご注意ください。
	75% 未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。今後タスクの追加等を行われる場合は、ご注意ください。
	75% 以上	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。今後タスクの追加等を行われる場合は、ご注意ください。
 注意	75% 未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。可能であれば CPU の追加をお勧めします。
	75% 以上	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。可能であれば CPU の追加をお勧めします。
 高負荷	75% 以上	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。早急な上位機種へのアップグレードをお勧めします。

○ **メモリ使用状況**

診断結果	最大値	コメント
 正常 (余力あり)	—	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。
 正常	—	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、良好な状態です。
 注意	—	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、タスクの追加等は控えられることをお勧めします。
 高負荷	—	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、物理メモリの増設をお勧めします。

○ **スワップ使用状況**

診断結果	最大値	コメント
 正常 (余力あり)	—	スワップメモリ使用量は平均（平均値）であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。
 正常	—	スワップメモリ使用量は平均（平均値）であり、良好な状態です。
 注意	—	スワップメモリ使用量は平均（平均値）であり、タスクの追加等は控えられることをお勧めします。
 高負荷	—	スワップメモリ使用量は平均（平均値）であり、物理メモリの増設をお勧めします。

○ ハードディスク 使用率

診断結果	最大値	コメント
 正常 (余力あり)	—	ハードディスク使用量((ドライブ名))は平均 (平均値) であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。
 正常	—	ハードディスク使用量((ドライブ名))は平均 (平均値) であり、良好な状態です。
 注意	—	ハードディスク使用量((ドライブ名))は平均 (平均値) であり、不要なファイルがあれば、削除等の、情報の整理をお勧めします。アプリケーションの追加等を行われる場合はご注意ください。
 高負荷	—	ハードディスク使用量((ドライブ名))は平均 (平均値) であり、ハードディスクを増設し、ファイルの移動をお勧めします。

○ 受信/送信量

診断結果	最大値	コメント
 正常 (余力あり)	最大 500Mbps 未 満	受信/送信量((NIC名))は平均 (平均値) であり、最大値も (日時) に (最大値) であり十分に余裕があり、特に問題ありません。
	最大 750Mbps 未 満	受信/送信量((NIC名))は平均 (平均値) です。最大値は (日時) に (最大値) であり、この時間に負荷がかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
	最大 750Mbps 以 上	受信/送信量((NIC名))は平均 (平均値) です。最大値は (日時) に (最大値) であり、この時間に負荷がかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
 正常	最大 500Mbps 未 満	受信/送信量((NIC名))は平均 (平均値) です。最大値は (日時) に (最大値) であり、良好な状態です。
	最大 750Mbps 未 満	受信/送信量((NIC名))は平均 (平均値) です。最大値は (日時) に (最大値) であり、この時間に負荷がかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
	最大 750Mbps 以 上	受信/送信量((NIC名))は平均 (平均値) です。最大値は (日時) に (最大値) であり、この時間に負荷がかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
 注意	最大 750Mbps 未 満	受信/送信量((NIC名))は平均 (平均値) です。最大値は (日時) に (最大値) です。ネットワークを利用するアプリケーションやプロセスの設定やエラー状況の確認をお勧めします。

	最大 750Mbps 以上	受信/送信量(NIC名)は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)です。ネットワークを利用するアプリケーションやプロセスの設定やエラー状況の確認をお勧めします。
 高負荷	最大 750Mbps 以上	受信/送信量(NIC名)は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)です。ブロードキャストストーム等のトラブル発生や、ウィルスによる不要トラフィックの発生が疑われます。詳細な調査をお勧めします。

○ 損失発生回数 (IN/OUT)

診断結果	最大値	コメント
 正常 (余力あり)	—	—
 正常	—	—
 注意	—	(NIC名) でパケット損失が発生しています。問題のないレベルですが、念のため調査をお勧めします。
 高負荷	—	(NIC名) でパケット損失が(平均値)です。ハードウェアの調査が必要です。

17. 過去比較情報 (Linux)

出力期間を元に、前回・前々回とのサマリー情報を比較するためのレポートです。



2

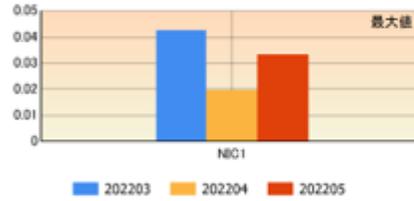
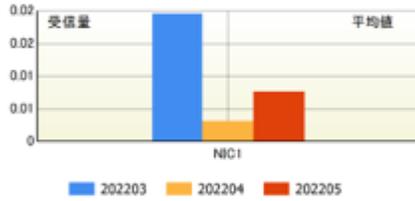
3

◆ネットワーク診断結果

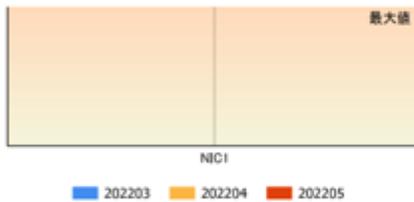
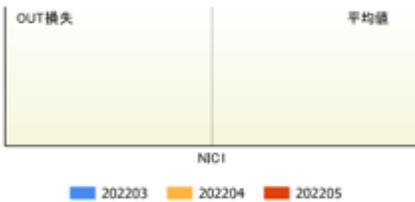
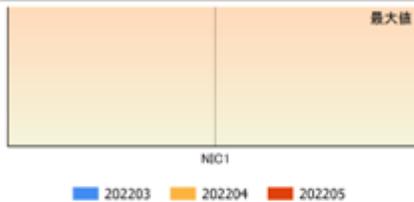
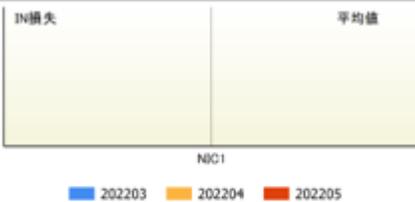
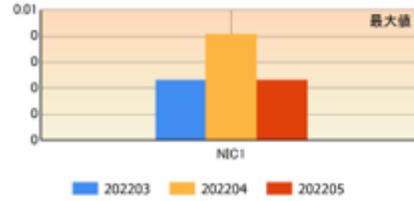
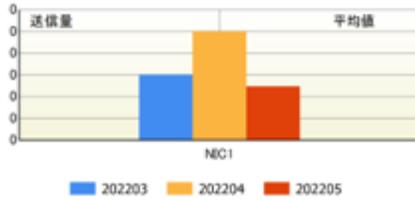
各グラフのY軸目盛での出力される場合、0.01未満を表示しません。
また、下3桁以下で四捨五入しますので同じ値が連続することもあります。

診断項目	受信量/送信量: Mbps、損失: 件	2022/03月		2022/04月		2022/05月	
		平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値
NIC1 ens192	受信量	0.02	0.04	0.00	0.02	0.01	0.03
	送信量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	IN損失	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	OUT損失	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

4



5



(1) 各項目について

No	説明
1	BOM 8.0レポート出力ウィザードで指定した出力期間の開始月を表示します。
2	コンピューターリソースの診断結果を、今回、前回、前々回の3回分を表示します。 診断結果自体は、サーバー診断レポートで集計した情報を使用します。
3	コンピューターリソースの診断結果過去比較をグラフにまとめて表示します。 ※ サンプルング期間毎に監視データの平均値を算出している為、最大値、最小値などが必ずしもグラフ上に表示されるわけではありません。
4	ネットワークトラフィックの診断結果を、今回、前回、前々回の3回分を表示します。 診断結果自体は、サーバー診断レポートで集計した情報を使用します。
5	ネットワークトラフィックの診断結果過去比較をグラフにまとめて表示します。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート (Linux) の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

18. 詳細グラフ情報 (Linux)

各監視項目毎に稼働状況をグラフにまとめたレポートです。インスタンス上の監視項目をグラフにして表示します。

1 サーバー診断レポート-グラフ HARDWARE-RHEL73 2 2022/03/01 ~ 2022/03/31 2022年03 3

Linux Idle監視 単位: % 期間: 2022/03/03 ~ 2022/03/18

統計情報				
項目数	700.00	最大値 ★	100.00	2022/03/18 5:24:23
平均値	99.45	最小値	84.00	2022/03/16 2:24:23
注意しきい値	0より小さい	危険しきい値	0より小さい	

4

5

Linux LoadAverage監視 単位: 期間: 2022/03/03 ~ 2022/03/18

統計情報				
項目数	700.00	最大値 ★	60.00	2022/03/10 16:19:21
平均値	1.21	最小値	0.00	2022/03/03 20:19:21
注意しきい値	0より小さい	危険しきい値	0より小さい	

Linux メモリ監視 単位: 期間: 2022/03/03 ~ 2022/03/18

統計情報				
項目数	700.00	最大値 ★	2697658368.00	2022/03/03 20:19:21
平均値	2638986070.31	最小値	2590625792.00	2022/03/17 9:54:23
注意しきい値	0より小さい	危険しきい値	0より小さい	

8/53 BOM for Windows

(1) 各項目について

No	説明
1	監視項目名を表示します。
2	監視項目で設定している単位を表示します。
3	監視項目で取得したデータのサンプリング期間を表示します。
4	監視項目で取得したデータの統計情報を表示します。
5	監視項目で取得したデータをグラフで表示します。 ※ サンプル期間毎に監視データの平均値を算出している為、最大値、最小値などが必ずしもグラフ上に表示されるわけではありません。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（Linux）の[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)を参照してください。

19. システム基本情報 (Linux)

監視コンピューターのOS名など、システムの基本情報をまとめたレポートです。

サーバー診断レポート-Linux基本情報 HARDWARE-RHEL73		2022/03/01 ~ 2022/03/31	2022年03月
Linuxシステム基本情報			
項目名	項目値		
コンピューター名	ip-08888888		
OS名	Red Hat Enterprise Linux Server release 7.3 (Maipo)		
カーネルバージョン	4.18.0-80.el8.x86_64		
システム製造元	VMware, Inc.		
システムモデル	VMware Virtual Platform		
システムの種類	x86_64		
プロセッサ	Intel(R) Xeon(R) E-2144G CPU @ 3.60GHz		
物理メモリ容量	3823448.00 KB	(3.65 GB)	
仮想メモリ容量	7944020.00 KB	(7.58 GB)	
ハードディスク容量			
ドライブ名	容量		
/dev/mapper/cl-home	19.37 GB		
/dev/mapper/cl-root	39.67 GB		
/dev/sda1	0.95 GB		

(1) 各項目について

項目名	説明
コンピューター名	監視コンピューターのコンピューター名を表示します。
OS名	監視コンピューターのOS名を表示します。
カーネルバージョン	監視コンピューターのカーネルバージョンを表示します。
システム製造元	監視コンピューターのシステム（ハードウェア）製造元を表示します。
システムモデル	監視コンピューターのシステム（ハードウェア）名を表示します。
システムの種類	監視コンピューターのシステム（ハードウェア）の種類を表示します。
プロセッサ	監視コンピューターに搭載されているプロセッサの種類を表示します。
物理メモリ容量	監視コンピューターに搭載されている物理メモリの容量を表示します。
仮想メモリ容量	監視コンピューターに設定されている仮想メモリの容量を表示します。
ハードディスク容量	監視コンピューターに設定されているハードディスクのドライブ名、容量を表示します。

※ それぞれの項目は、情報の取得に失敗した場合は表示されません。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（Linux）の['レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧'](#)を参照してください。

20. ハードウェア情報 (Linux)

監視コンピューターに搭載されているハードウェアを一覧にまとめたレポートです。

サーバ診断レポート-ハードウェア HARDWARE-RHEL73				2022/02/01 ~ 2022/04/30	2022年02月
ハードウェア情報					
項番	カテゴリ	ハードウェア名	詳細情報		
1	acpi	Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU Q9550 @ 2.83GHz	CPU0		
2	acpi	Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU Q9550 @ 2.83GHz	CPU1		
3	acpi	Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU Q9550 @ 2.83GHz	CPU2	追加	
4	acpi	Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU Q9550 @ 2.83GHz	CPU3	追加	
5	computer	Computer			
6	computer	Macintosh mouse button emulation	logicaldev_input_0		
7	computer	Microsoft Vmibus HID-compliant Mouse	logicaldev_input_1		
8	computer	Power Button	logicaldev_input		
9	net	Loopback device interface	computer_loopback		
10	net	SCSI Device	00_15_5d_21_30_41	追加	
11	net	Virtualization Service Client Device (vmbus_0_1)	00_15_5d_21_30_0f		
12	pci	82371AB/EB/MB PIIX4 ACPI	8086_7113		
13	pci	82371AB/EB/MB PIIX4 IDE	8086_7111		
14	pci	82371AB/EB/MB PIIX4 ISA	8086_7110		
15	pci	Hyper-V virtual VGA	1414_5353		
16	pci	SCSI Device	8086_7111_scsi_host_scsi_device_lun_0		
17	pci	SCSI Device	8086_7111_scsi_host_scsi_device_lun_0_0	追加	
18	pci	SCSI Device	8086_7192		
19	pci	SCSI Generic Interface	8086_7111_scsi_host_scsi_device_lun_0_0_scsi_generic	追加	
20	pci	SCSI Generic Interface	8086_7111_scsi_host_scsi_device_lun_0_scsi_generic		
21	pci	SCSI Host Adapter	8086_7111_scsi_host		
22	pci	SCSI Host Adapter	8086_7111_scsi_host_0		
23	pci	SCSI Host Adapter	8086_7111_scsi_host_scsi_host		
24	platform	AT Translated Set 2 keyboard	i8042_i8042_KBD_port_logicaldev_input		
25	platform	i8042 AUX port	i8042_i8042_AUX_port		
26	platform	i8042 KBD port	i8042_i8042_KBD_port		
27	platform	Platform Device (Fixed MDIO bus.0)	Fixed_MDIO_bus_0		
28	platform	Platform Device (i8042)	i8042		
29	platform	Platform Device (microcode)	microcode		
30	platform	Platform Device (pcspkr)	pcspkr		
31	platform	Platform Device (serial8250)	serial8250		
32	platform	Platform Device (vesafb.0)	vesafb_0		

1

(1) 各項目について

No	説明
1	監視コンピューターに搭載されているハードウェアを一覧に表示します。 出力期間内に、追加または削除されたハードウェアは背景色を変更して表示します。 - 追加された場合：黄色 - 削除された場合：グレー

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（Linux）の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

21. ソフトウェア情報 (Linux)

監視コンピューターに導入されているソフトウェアを一覧にとまとめたレポートです。

一覧に出力される条件は監視コンピューターのOS上で管理されているアプリケーションのみレポートされます。

サーバー診断レポート-ソフトウェア HARDWARE-RHEL73					2022/02/01 ~ 2022/04/30	2022年02月
ソフトウェア情報						
項番	ソフトウェア名	ベンダー	バージョン	インストール日付		
1	abrt relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	2.0.8	2022/02/05		
2	abrt-addon-ccpp relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	2.0.8	2022/02/05		
3	abrt-addon-kerneloops relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	2.0.8	2022/02/05		
4	abrt-addon-python relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	2.0.8	2022/02/05		
5	abrt-cli relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	2.0.8	2022/02/05		
6	abrt-desktop relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	2.0.8	2022/02/05		
7	abrt-gui relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	2.0.8	2022/02/05		
8	abrt-libs relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	2.0.8	2022/02/05		
9	abrt-tui relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	2.0.8	2022/02/05		
10	abyssinica-fonts relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	1.0	2022/02/05		
11	acl relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	2.2.49	2022/02/05		
12	acpid relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	1.0.10	2022/02/05		
13	aic94xx-firmware relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	30	2022/02/05		
14	alsa-lib relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	1.0.22	2022/02/05		
15	alsa-plugins-pulseaudio relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	1.0.21	2022/02/05		
16	alsa-utils relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	1.0.22	2022/02/05		
17	anthy relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	9100h	2022/02/05		
18	apr relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	1.3.9	2022/02/05		
19	apr-util relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	1.3.9	2022/02/05		
20	apr-util-ldap relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	1.3.9	2022/02/05		
21	at relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	3.1.10	2022/02/05		
22	atk relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	1.30.0	2022/02/05		
23	atmel-firmware relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	1.3	2022/02/05		
24	at-spi relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	1.28.1	2022/02/05		
25	at-spi-python relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	1.28.1	2022/02/05		
26	atril relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	2.4.44	2022/02/05		
27	audit relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	2.2	2022/02/05		
28	audit-libs relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	2.2	2022/02/05		
29	authconfig relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	6.1.12	2022/02/05		
30	authconfig-gtk relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	6.1.12	2022/02/05		
31	autofs relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	5.0.5	2022/02/05		
32	avahi-autoipd relocatable) Relocations: (not	Red Hat, Inc.	0.6.25	2022/02/05		

1

17/56 BOM for Windows

(1) 各項目について

※ Ubuntu 環境の「インストール日付」については、インストール日付が取得できたときのみ出力され、それ以外は空欄となります。

No	説明
1	監視コンピューターに搭載されているソフトウェアを一覧に表示します。 出力期間内に、追加または削除されたソフトウェアは背景色を変更して表示します。 - 追加された場合：黄色 - 削除された場合：グレー

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート (Linux) の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

22. ハードウェア・ソフトウェア差分情報 (Linux)

"ハードウェア情報"レポートおよび、"ソフトウェア情報"レポートから、前回との差分だけ抽出したレポートです。

前回と比較して、追加または削除された内容のみを表示します。前回との差分がない場合には出力されません。

項番	カテゴリ	ハードウェア名	詳細情報	状態
1	acpi	Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU Q9550 @ 2.83GHz	CPU2	追加
2	acpi	Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU Q9550 @ 2.83GHz	CPU3	追加
3	net	SCSI Device	00_15_5d_21_30_41	追加
4	pci	SCSI Device	8086_7111_scsi_host_scsi_device_lun0_0	追加
5	pci	SCSI Generic Interface	8086_7111_scsi_host_scsi_device_lun0_0_scsi_generic	追加
6	storage	SCSI Device	serial_360022480788802fc441fae1f8c29f3d7	追加
7	storage	Virtual CD-ROM	serial_14e5346542020202000000000000000000_00_0	追加
8	storage	Virtualization Service Client Device (vmbus_0_15)	serial_360022480c7c14a039b9fc5edd8e66c9a	追加
9	volume	Virtualization Service Client Device (vmbus_0_14)	uuid_bee8f810_4818_4380_a970_34cce471d2a3	削除
10	volume	Virtualization Service Client Device (vmbus_0_17)	uuid_bee8f810_4818_4380_a970_34cce471d2a3	追加

◆ソフトウェア差分情報

※該当する情報がありません

53/56 BOM for Windows

23.テキストログ情報 (Linux)

監視コンピューターのテキストログ監視の結果を簡単にまとめたサマリーレポートです。

サーバー診断レポート-Linuxテキストログ HARDWARE-RHEL73 2022/03/01 ~ 2022/03/31 2022年03月

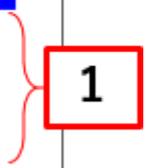
Linuxテキストログ情報

テキストログ監視の結果をレポートします。
ログの種類は、すべて“情報”となります。

◆ログ構成

ソース	合計
/var/log/messages*	392
/var/log/secure*	4
合計	396

53/53 BOM for Windows



(1) 各項目について

No	説明
1	同一のテキストログソースについて件数を集計し、集計した同類のメッセージ毎に表示します。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（Linux）の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

24. 全インスタンス概要 (WindowsとLinux)

レポート出力対象のコンピューターを一覧表示し、基本情報をまとめたサマリーレポートです。

本レポートはBOM 8.0 レポート出力ウィザードで1インスタンス選択ごとに全インスタンス概要が表示されます。

サーバー診断レポート-全インスタンス概要		2022/02/01 ~ 2022/04/30		2022年02月					
全インスタンス概要									
<small> CPU～NICまでの凡例 ○:良好です、△:注意を要します、×:増強をお受けます、(空白):監視項目がありません ハードウェア～ソフトウェアの凡例 +:追加があります、-:削除があります、(空白):監視項目がないか、変更がありません Pingの凡例 ○:良好です、△:注意を要します、×:ネットワーク機器および環境の確認をお受けます、(空白):監視項目がありません ※対象インスタンスがLinuxの場合、Pingは(空白)になります </small>									
サーバー名	OS名/バージョン	CPU	Mem	HDD	NIC	ハードウェア	ソフトウェア	Ping	
BOM6-RHEL73	Red Hat Enterprise Linux Server release 7.3 (Maipo) / 3.10.0-514.el7.x86_64		○	○	○				
BOM7-RHEL73-B	Red Hat Enterprise Linux Server release 7.3 (Maipo) / 3.10.0-514.el7.x86_64	○	○	○	○				
DAIRI-FE80C438339B8EB613C	Microsoft Windows Server 2019 Standard /	○	△	△	○				
HARDWARE-RHEL73-1	Red Hat Enterprise Linux Server release 7.3 (Maipo) / 3.10.0-514.el7.x86_64	○	×	○	○	+/-			
NEW2.TEMPLATE-FE80CA017F52B347B043	Red Hat Enterprise Linux Server release 7.3 (Maipo) / 3.10.0-514.el7.x86_64	○	○	○	○				
NEW4.TEMPLATE-RHEL73-1777133	Red Hat Enterprise Linux Server release 7.3 (Maipo) / 3.10.0-514.el7.x86_64	○		○	○				
RHEL73-17	Red Hat Enterprise Linux Server release 7.3 (Maipo) / 3.10.0-514.el7.x86_64	○	×	○	×				
RHEL73-FE80CA017F52B347B043	Red Hat Enterprise Linux Server release 7.3 (Maipo) / 3.10.0-514.el7.x86_64	○	○	○	×				
WIN-TEST000TEST000T	Microsoft Windows Server 2016 Standard /	△	×	○	○				○

(1) 各項目について

項目名	説明
サーバー名	監視コンピューターの監視インスタンス名を表示します。
OS名/バージョン	監視コンピューターのOS名およびバージョン情報を表示します。
CPU	監視コンピューターのCPU負荷状況を記号で表示します。
Mem	監視コンピューターのメモリ使用状況（物理メモリ、仮想メモリ）を記号で表示します。
HDD	監視コンピューターのハードディスク状況（使用率）を記号で表示します。
NIC	監視コンピューターのネットワーク負荷状況を記号で表示します。
ハードウェア	ハードウェアの追加・削除状況を表示します。
ソフトウェア	ソフトウェアの追加・削除状況を表示します。
Ping	監視コンピューターのPing状況を記号で表示します。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

- Windows 環境について

サーバー診断レポート（Windows）の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

- Linux 環境について

サーバー診断レポート（Linux）の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

(3) インスタンス概要の各記号について

CPU、Mem、HDD、NIC、Pingの各記号については、サーバー診断レポートで出力される各診断結果をもとに判定しています。

- CPU、Mem、HDD、NICの記号について

記号	説明	サーバー診断レポートステータス
○	良好です	正常（余力あり）、正常
△	注意を要します	注意
×	増強をお勧めします	高負荷
空白	監視項目がありません	—

ハードウェア、ソフトウェアの各記号については、ハードウェア・ソフトウェア差分情報で出力される結果をもとに判定しています。

- ハードウェア、ソフトウェアの記号について

記号	説明	ハードウェア・ソフトウェア差分情報
+	追加があります	追加
-	削除があります	削除
空白	監視項目がないか、変更がありません	—

※ 追加および削除があった場合には"+/-"と出力されます。

Pingの各記号については、サーバー診断レポートで出力される各診断結果をもとに判定しています。

- Pingの記号について

記号	説明	サーバー診断レポートステータス
○	良好です	正常（余力あり）
△	注意を要します	注意
×	ネットワーク機器および環境の確認をお奨めします	高負荷
空白	監視項目がありません	—

25. サーバー診断レポート (VMware)

監視コンピューターの稼働状況を簡単にまとめたサマリーレポートです。



VMwareサーバー診断レポート

VMwareの **1** レポートします。 **2**

サーバー名: HARDWARE-RHEL73 対象期間: 2022/03/01 ~ 2022/03/31

◆パフォーマンス診断

項目	最大値	最小値	平均値	診断	
CPU	CPU使用率 %	66.00	1.00	3.95	✓
	CPU作動可能 %	7.66	1.67	4.42	✓
ディスク	カーネル待ち時間 ミリ秒	26.00	0.00	1.24	✓
	デバイス待ち時間 ミリ秒	53.00	5.00	17.73	✗
	キュー待ち時間 ミリ秒	26.00	0.00	0.95	✓
メモリ	メモリ使用率 %	54.00	54.00	54.00	✓

＜診断について＞
診断は、取得した平均値をVMware社の監視およびパフォーマンスガイドに記載の値を基準におこなっています。
CPUでは、CPU使用率が90%、CPU作動可能が20%(ミリ秒/200)を超えると、パフォーマンスに影響を与えます。
ディスクのカーネル待ち時間が4ミリ秒を超えるとストレージに過度な要求をしていることを示します。
デバイス待ち時間は、物理的な完了までの時間です。15ミリ秒を超える場合、処理とストレージの能力のバランスに問題があります。
キュー待ち時間が0ミリ秒を超える場合、処理量が大きく十分な速度で処理できないことを示します。
メモリ使用率が6%以下の場合、ホストがメモリに対する要求を満たさないことを示し、パフォーマンスが低下します。

◆パフォーマンスサマリー

項目	総容量	利用量	利用率	
ストレージ	datastore1 Blue	931.25 GB	155.30 GB	16.68 %
	datastore2 BlueOld	926.50 GB	698.67 GB	75.41 %
	datastore3 Green	931.25 GB	152.38 GB	16.36 %
	datastore4 Red	931.25 GB	219.24 GB	23.54 %
	datastore5 Yellow	931.25 GB	1.47 GB	0.16 %
	datastore6 iSCSI-90	5119.75 GB	3173.39 GB	61.98 %

項目	最大値	最小値	平均値	
ネットワーク (Total)	受信ドロップ数 個	0.00	0.00	0.00
	送信ドロップ数 個	0.00	0.00	0.00
	データ受信速度 KBps	4759.00	0.00	311.66
	データ送信速度 KBps	578.00	0.00	10.51
	ネットワーク使用率 KBps	4910.00	1.00	322.41

1/8 BOM for Windows

(1) 各項目について

No	説明
1	レポート対象のサーバー名を表示します。
2	レポートの出力対象期間を表示します。
3	コンピューターリソースの診断結果を表示します。 ステータスは、監視コンピューター上の監視項目から情報を取得し、判定基準に沿って決定します。
4	データストア毎のパフォーマンスの集計値を一覧で表示します。 なお、本項目についてはサーバー診断レポートの評価対象ではありません。
5	物理NICおよび、仮想NICのパフォーマンスの集計値を一覧で表示します。 なお、本項目についてはサーバー診断レポートの評価対象ではありません。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

レポートデータベース設定ウィザードで指定する際に使用する一覧表です。

• 監視テンプレート名：VMwareレポート用

監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
VMwareレポート	CPU 使用率 (%)	VM_performance
	CPU 作動可能 (ミリ秒)	VM_performance
	カーネル待ち時間 (ミリ秒)	VM_performance
	デバイス待ち時間 (ミリ秒)	VM_performance
	キュー待ち時間 (ミリ秒)	VM_performance
	メモリ使用率 (%)	VM_performance
	NIC 受信ドロップ数	VM_performance
	NIC 送信ドロップ数	VM_performance
	NIC データ受信速度 (KBps)	VM_performance
	NIC データ送信速度 (KBps)	VM_performance
	NIC ネットワーク使用率 (KBps)	VM_performance
	NIC1 受信ドロップ数	VM_performance
	NIC1 送信ドロップ数	VM_performance
	NIC1 データ受信速度 (KBps)	VM_performance
	NIC1 データ送信速度 (KBps)	VM_performance

NIC1 ネットワーク使用率 (KBps)	VM_performance
-----------------------	----------------

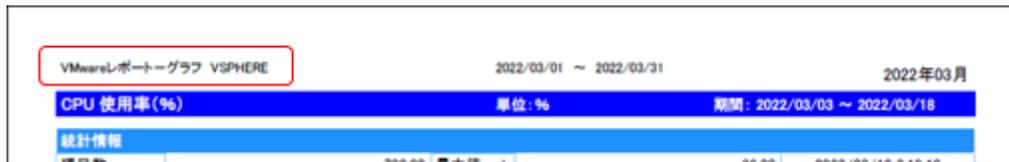
監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
VMwareレポート	NIC2 受信ドロップ数	VM_performance
	NIC2 送信ドロップ数	VM_performance
	NIC2 データ受信速度 (KBps)	VM_performance
	NIC2 データ送信速度 (KBps)	VM_performance
	NIC2 ネットワーク使用率 (KBps)	VM_performance
	VMware ストレージ 1 空き容量監視 (%)	VM_DiskFreeSpaceUtilization
	VMware ストレージ 2 空き容量監視 (%)	VM_DiskFreeSpaceUtilization
	VMware ストレージ 3 空き容量監視 (%)	VM_DiskFreeSpaceUtilization
	VMware ストレージ 4 空き容量監視 (%)	VM_DiskFreeSpaceUtilization
	VMware イベント監視	VM_Evtlog
	vCenter ログ監視	VM_vCenterlog
	VMware ビューアーデータ収集	

※ すでにBOM 8.0 レポートデータベースの設定を一度行い、追加で上記項目のレポート出力する場合には、BOMレポートデータベースの再作成が必要です。レポートデータベースの削除、レポートデータベースの作成の詳細についても'BOM Report オプション Ver.8.0 ユーザーズマニュアル'を参照してください。BOM レポートデータベースを再作成しても元データであるアーカイブサーバーのデータが削除されることはありません。

26. 詳細グラフ情報 (VMware)

監視コンピューターの稼働状況を簡単にまとめたサマリーレポートです。

- [詳細グラフ情報 \(Windows\)](#) 'を参照してください。レポート名称のみが相違しています。



27. システム基本情報 (VMware)

監視コンピューターの稼働状況を簡単にまとめたサマリーレポートです。

項目名	項目値
コンピューター名	04a321d8e0d2e2.03y-1w09.0a.jp
OS名/バージョン	VMware ESXi 7.0.1
ビルド	16850804
システム製造元	HPE
システムモデル	ProLiant DL20 Gen10
プロセッサ (Packages/Cores/Threads)	Intel(R) Xeon(R) E-2144G CPU @ 3.60GHz (1/4/8)
物理メモリ容量	66951428 KB (63.85 GB)

データストア	データストア名	Blue
datastore1	データストア名	Blue
	総容量	931.25 GB
	空き容量	775.95 GB (83.32%)
	タイプ	VMFS
datastore2	データストア名	BlueOld
	総容量	926.50 GB
	空き容量	227.83 GB (24.59%)
	タイプ	VMFS
datastore3	データストア名	Green
	総容量	931.25 GB
	空き容量	778.87 GB (83.64%)
	タイプ	VMFS
datastore4	データストア名	Red
	総容量	931.25 GB
	空き容量	712.01 GB (76.46%)
	タイプ	VMFS
datastore5	データストア名	Yellow
	総容量	931.25 GB
	空き容量	929.78 GB (99.84%)
	タイプ	VMFS

6/8 BOM for Windows

1

2

datastore6	データストア名	ISCSI-90	
	総容量	5119.75 GB	
	空き容量	1946.36 GB	(38.02%)
	タイプ	VMFS	

2

NIC			
物理NIC1	デバイス名	vmnic0	
	リンク速度	1000 MB Full duplex	
	MACアドレス	[Redacted]	
物理NIC2	デバイス名	vmnic1	
	リンク速度	1000 MB Full duplex	
	MACアドレス	[Redacted]	
物理NIC3	デバイス名	vmnic2	
	リンク速度		
	MACアドレス	[Redacted]	
物理NIC4	デバイス名	vmnic3	
	リンク速度		
	MACアドレス	[Redacted]	
仮想NIC1	デバイス名	vmk0	
	MACアドレス	[Redacted]	
	IPv4アドレス(IPv4/Mask)	[Redacted]/255.255.255.0	
	IPv6アドレス(IPv6/Prefix)	[Redacted]	

3

4

(1) 各項目について

No	項目名	説明
1	コンピューター名	監視コンピューターのコンピューター名を表示します。
	OS名/バージョン	監視コンピューターのOS名および、サービスパックのバージョンを表示します。
	ビルド	監視コンピューターのビルド番号を表示します。
	システム製造元	監視コンピューターのシステム（ハードウェア）製造元を表示します。
	システムモデル	監視コンピューターのシステム（ハードウェア）名を表示します。
	プロセッサ	監視コンピューターに搭載されているプロセッサの種類を表示します。
	物理メモリ容量	監視コンピューターに搭載されている物理メモリの容量を表示します。
2	データストア	監視コンピューターのデータストアの情報を表示します。
3	物理NIC	監視コンピューターの物理NICの情報を表示します。
4	仮想NIC	監視コンピューターの仮想NICの情報を表示します。

※ それぞれの項目は、情報の取得に失敗した場合は表示されません。

※ 仮想NICでIPv6アドレスが複数ある場合、各アドレスのアドレスプリフィックスと合わせてすべて表示されます。

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート（VMware）の[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)を参照してください。

28. VMwareログレポート (VMware)

監視コンピューターの稼働状況を簡単にまとめたサマリーレポートです。

VMwareログレポート

サーバー名: VMware 対象期間: 2022/02/01 ~ 2022/02/31

◆サマリー

ソース	情報	詳細	警告	エラー	重大	その他	合計
UserLoginSessionEvent	206	0	0	0	0	0	206
UserLogoutSessionEvent	234	0	0	0	0	0	234

◆ログリスト

UserLoginSessionEvent

ソース	ID	レベル	日付	メッセージ
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 0:13:44	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 10:34:53	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 10:35:43	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 10:35:44	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 10:37:13	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:20:46	ユーザー root@123456789 が VMware vSphere Client/6.5.0 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:25:24	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:25:25	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:25:26	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:25:27	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:25:34	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:25:35	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:25:59	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:26:00	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:26:01	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:26:02	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:26:20	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:26:21	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:26:22	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:26:23	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました
UserLoginSessionEvent	5279	情報	2022/02/01 12:26:28	ユーザー root@123456789 が gSOAP/2.8 としてログインしました

1

2

8/8 BOM for Windows

(1) 各項目について

No	説明
1	ソースの種類毎に件数を報告します。
2	設定されたソースのログを発生順にすべて表示します。 ※ 設定されたコードは以下の2種類です。 - UserLoginSessionEvent - UserLogoutSessionEven

(2) レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

サーバー診断レポート (VMware) の'[レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧](#)'を参照してください。

第3章 レポートデータベース標準テーブルについて

各レポートデザインとは別に、必ず作成される各種テーブルについて案内します。

1. 各種テーブルについて

作成されるテーブルの仕様については以下のとおりです。

テーブル名称：環境設定テーブル

テーブルID：t_environmental setting

No	列名称	列ID	型	Null
1	設定項目名	environment_item	nvarchar	×
2	設定値	environment_value	nvarchar	×

テーブル名称：収集データリストテーブル

テーブルID：t_collect_terms

No	列名称	列ID	型	Null
1	実行履歴ID	history_id	int	×
2	実行日時	execute_time	datetime	×
3	検索日時最小値	minimum_time	datetime	×
4	検索日時最大値	maximum_time	datetime	×
5	インベントリ情報格納テーブル	inventory_table_name	nvarchar	×

テーブル名称：インスタンス管理テーブル

テーブルID：t_instance

No	列名称	列ID	型	Null
1	インスタンス設定ID	instance_setup_id	int	×
2	インスタンス種別（プロダクトコード）	product_code	nvarchar	×
3	ユニークサーバー名	machine_unique_name	nvarchar	×

No	列名称	列ID	型	Null
4	インスタンス名	instance_name	nvarchar	×
5	実行履歴ID_Begin	history_id_begin	int	×
6	実行履歴ID_End	history_id_end	int	×
7	サーバー名	machine_name	nvarchar	×
8	エイリアス付サーバー名	machine_alias	nvarchar	×

テーブル名称： サマリーテーブル

テーブルID： t_summary_report_data

No	列名称	列ID	型	Null
1	実行履歴ID	history_id	int	×
2	インスタンス設定ID	instance_setup_id	int	×
3	監視項目設定ID	watch_setup_id	int	×
4	レポートデータテーブル名	table_name	nvarchar	×
5	最大値	maximum_value	money	
6	最大値日付	maximum_date	datetime	
7	最小値	minimum_value	money	
8	最小値日付	minimum_date	datetime	
9	平均値	average_value	money	
10	個数	count_value	money	×
11	合計	sum_value	decimal	
12	増分計算基準値	incremental_base	money	
13	増分計算最大値	incremental_max	money	
14	増分計算合計値	incremental_total	money	
15	取得データ日時最大値	compensation_time	datetime	×
16	付加情報	additional_information	nvarchar	×
17	データ種別	data_type	nvarchar	×

テーブル名称： レポートデータテーブル

テーブルID： t_\$(テーブル追加時に任意設定)_yyyymm

No	列名称	列ID	型	Null
1	インスタンス設定ID	instance_setup_id	int	×
2	日時	monitor_time	datetime	×
3	値	monitor_value	nvarchar	×
4	付加情報	additional_information	nvarchar	×

※ yyyyymm : 年月

テーブル名称： インベントリ情報テーブル

テーブルID： t_inventory_yyyyymm

No	列名称	列ID	型	Null
1	インスタンス設定ID	instance_setup_id	int	×
2	日時	archive_time	datetime	×
3	一意な情報ID	sysinfo_id	int	×
4	情報IDの組み合わせID	set_num	int	×
5	WMI 名前空間	name_space	nvarchar	
6	WMI クラス名	class_name	nvarchar	
7	WMI プロパティ名	property_name	nvarchar	
8	値	info_value	nvarchar	

※ yyyyymm : 年月

BOM Report オプション Ver.8.0 デザインファイル仕様

2022年5月9日 初版

2023年12月25日 改訂版

著者・発行者・発行

セイ・テクノロジーズ株式会社

バージョン Ver.8.0.10.0

(C) 2022 SAY Technologies, Inc.